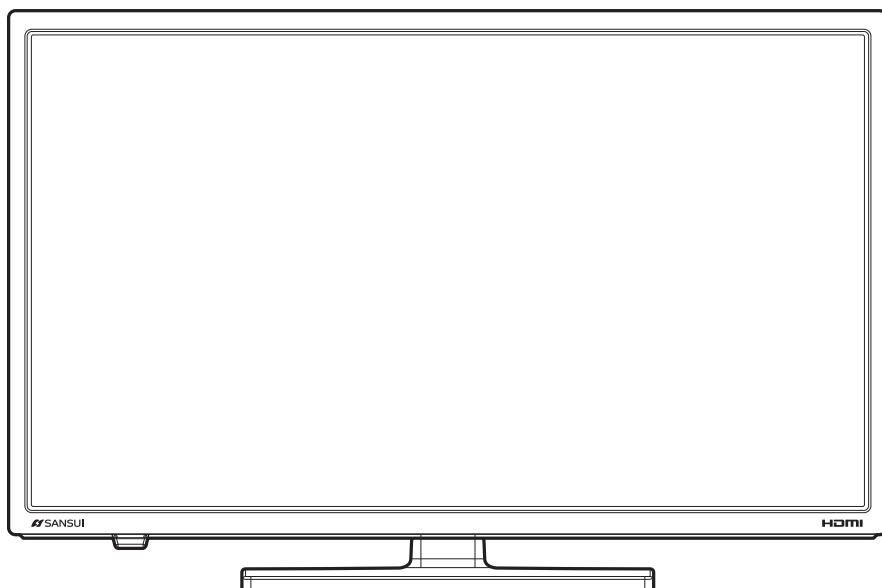




はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
- 保証書は必ず「販売店／購入日」などの記入を確かめて、お買い上げの販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

(この取扱説明書の文中に出てくる「テレビ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています)

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。

本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

家庭用品品質表示法による表示 ご使用上の注意

- 1 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
- 2 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
- 3 内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
- 4 ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、販売店もしくはサービスセンターへ相談してください。

株式会社ドウシシャ

警告

電源コードの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください



禁止

- ・コードを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- ・コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- ・重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- ・電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。



高圧注意

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。

キャビネットを開けないでください。



分解禁止

内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。

お客様による修理は絶対にしないでください。

内部の点検、調整、修理は、販売店にご相談ください。



水場での
使用禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ・ 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- ・ 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かないでください。
- ・ 水がかかるような場所では使用しないでください。



絶対に水に
ぬらさない



接触禁止

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。



禁止

ろうそくなど、炎が出るものを近くに置かない

炎が近づくと、火災の原因になります。



禁止

交流 100 ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。

異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。

設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。

また、台などにのせて設置するときは転倒防止の処置をしてください。



禁止

miniB-CAS カードは、小さなお子様の手が届くところに置かない

お子様が誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

次のような症状が見つかったら

- ・ 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- ・ 内部に水や異物が入った。
- ・ 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- ・ 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- ・ 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはドウシシャサービスセンターに修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。

- ・ 密閉したラックの中に入れないでください。
- ・ じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- ・ 布団や毛布、布をかけないでください。
- ・ 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- ・ 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔をあけてください。



禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。



指示

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。



プラグを抜く

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

思わぬ火災や感電の事故を防ぎます。

- ・ 旅行などでしばらく使わない場合
- ・ お手入れをする場合
- ・ 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。



指示

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントに電源プラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、火災の原因となることがあります。電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。



指示

思わぬ事故を防ぐために

- ・ コンセントの周りにほこりをためないようにときどき掃除をする。
- ・ 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- ・ コンセントやプラグに異常がないか確かめる。



指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。

液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。

皮膚の炎症などの原因となることがあります。

万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。

また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。



禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。



指示



禁止

電池の取り扱いについて（リモコンの電池）

電池の使いかたを誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- ・ ＋－の指示通りに入れる。
- ・ 指示以外の電池は使用しない。
- ・ 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない。
- ・ 電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。
- ・ 液漏れがあった場合は、その液に触れない。
- ・ 小さなお子様の手が届くところに電池を置かない。
- ・ 電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従う。

使用上のご注意とお願い

輝点・欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

お手入れについて

- ・ お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- ・ キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
 - ベンジンやシンナーは使わないでください。
また、化学ぞうきんの使用は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。
 - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- ・ 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。
パネル保護のため、次のことをお守りください。
 - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。
傷付き・変色の原因となります。
 - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。
色ムラ・変色の原因となります。
 - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。
傷付き・変色の原因となります。

輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加の恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。
熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。
また、液晶テレビの上に、タオルをかけたり、ものを置かないでください。

室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式／液晶式／プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

必ずお読みください

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル（テレビジョン）放送とは？

地上波のUHF帯を利用して提供する放送のことです。取扱説明書では、「地上デジタル放送」と記載しています。

すでに受信エリアが、放送地域になっていること

地上デジタル放送の受信エリアの目安は、Dpa（社団法人デジタル放送推進協会）のホームページでご確認ください。

<http://www.dpa.or.jp/>
(2016年4月現在)

ご注意

ファームウェアの更新について

- ファームウェアの更新処理は、本機の電源が切られているとき（電源ランプが赤色点灯時）に自動的に実行します。本体の電源ボタンで電源を切っているときは、ダウンロードできませんのでご注意ください。

地上デジタル放送波にファームウェア信号を載せて、ファームウェアの更新データが送信され、本機へデータをダウンロードします。また、ファームウェアの更新処理には約10分かかります。本機を長期間使用しないとき以外は、電源コードを抜かないでください。



ファームウェア更新は、Dpaのエンジニアリングサービスで行ないます。

お知らせ

- 以下のような環境で地上デジタル放送を受信する場合は、各事業者または管理者にお問い合わせください。
 - ・ ケーブルテレビ
 - ・ 共聴・集合住宅施設

B-CAS カードについて

- デジタル放送を視聴していただくために、付属しているminiB-CAS（ミニビーカス）カードは、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などをした場合は、速やかに（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などをした場合は、再発行費用が請求されます。

録画について

- テレビの映像や音声は著作権法により個人として楽しむなどの他は権利者に無断で使用することはできません。

ご注意

- より快適な環境でご使用いただくために、本機内部のファームウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
- ソフトウェアのダウンロードなどにより、本機の仕様および機能などが予告なく変更されることがあります。
- 本機についてのお問い合わせおよび修理のご依頼は、お買い上げになった販売店またはドウシシャサービスセンターまでご連絡ください。
- 取扱説明書に記載の内容は、将来予告なしに変更することがあります。ドウシシャサービスセンターまで最新情報についてお問い合わせください。
- 取扱説明書に記載の内容は、万全を期して作成いたしましたが、万一、誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、ドウシシャサービスセンターまでご連絡ください。

目次

● はじめに	
安全上のご注意	2
使用上のご注意とお願い	5
必ずお読みください	6
● 準備	
地上・BS・110度CS デジタル放送について	8
付属品を確認する	9
各部の名称（本体）	10
各部の名称（リモコン）	12
スタンドの取り付け	13
リモコンの準備と使いかた	14
アンテナを接続する	15
B-CAS カードを入れる／電源を入れる	16
チャンネル設定をする	17
● 基本の操作	
テレビを見る	18
チャンネル情報を見る／番組説明を見る	19
デジタル放送の便利な機能を使う	20
番組表を見る	21
見たい番組を探す	22
番組表の便利な機能を使う	23
条件を指定して番組を探す	26
文字を入力する	28
データ放送を見る	29
双方向通信を楽しむために	30
画面サイズを変える	31
USB ハードディスク録画・予約機能について	32
USB ハードディスクを取りはずす	34
視聴中の番組を録画する	35
録画を中止するとき	35
番組表から録画・予約する	36
連続ドラマを予約する	38
番組を検索して録画・予約する	39
条件を指定して予約する	40
録画設定や連ドラ設定を変更する	41
予約を確認・変更する	42
予約・録画時の動作について	43
録画した番組を再生する	44
見たい録画番組を探す	46
録画番組を消去・保護する	47
録画番組を他の USB ハードディスクへ移動する	48
録画リストの便利な機能を使う	49
便利な機能を使う	51
● 調整と設定	
メニュー画面の操作方法	52
メニュー項目の詳細	53
映像設定	60
タイマー機能メニュー	62
● 外部機器との接続	
再生機器を接続する	64
パソコンを接続する	67
アンテナの方向調整と設定	68
● その他	
地域別チャンネル表	69
故障かな？と思ったら	71
エラーメッセージ一覧	77
壁に掛けて使用するとき	80
主な仕様	81
保証とアフターサービス	83
ソフトウェアのライセンス情報	84

地上・BS・110度CS デジタル放送について

地上デジタル放送の特長

- ・ デジタルハイビジョンが楽しめ、高画質・多チャンネル放送を利用できます。
- ・ 音声は CD 並みの高音質で楽しめます。(MPEG-2PCM/AAC 方式)
- ・ ゴーストが無く、画像を鮮明に映し出します。
- ・ 移動体・部分受信サービスに対応しています。
自動車や電車などでの移動体受信サービスや、スマートフォンなどの携帯端末で受信できる部分受信サービス（ワンセグ）も利用できます。
※本機では、部分受信サービス（ワンセグ）は受信できません。

BS・110度CS デジタル放送をお楽しみいただくために

BS・110度CS デジタル放送をご覧になるには専用のアンテナが必要となります。BS・110度CS デジタル放送については、アンテナケーブルやブースター等の機器の影響を受けやすくなっています。現在ご使用されている BS アンテナでは BS・110度CS デジタル放送を正しく受信できない場合があります。このような場合は販売店にご相談ください。

110度CS デジタル放送をお楽しみいただくためには別途加入申し込みが必要になります。BS デジタル放送では一部チャンネルが有料放送となっています。加入申し込みなどはご覧になりたい放送局の顧客センターへお問い合わせください。

お知らせ

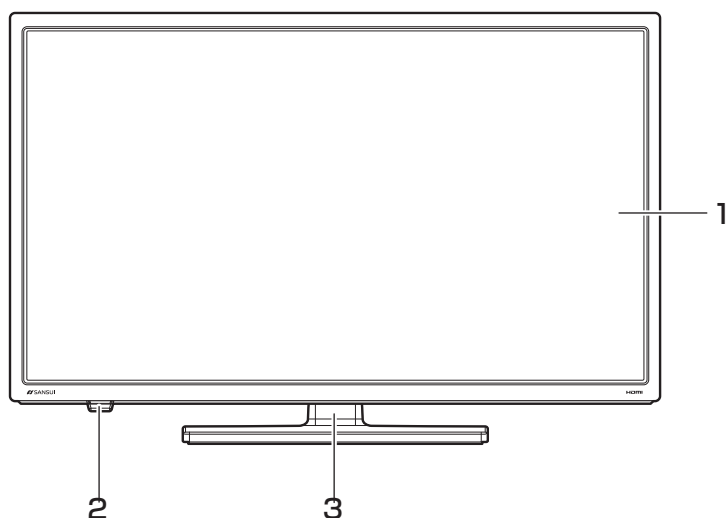
地上デジタル・BS・110度CS デジタル放送には、以下の3種類の放送があります。

- テレビ放送：従来のテレビ放送です。
- データ放送：お住まいの地域の生活情報や天気予報、ニュースなどの放送です。
(**dデータ**)を押すとデータ放送を表示できます。(29 ページ参照)
- ラジオ放送：音声を主とした放送です。

地上デジタル放送では、現在ラジオ放送を休止しています。(2011 年 3 月以降)

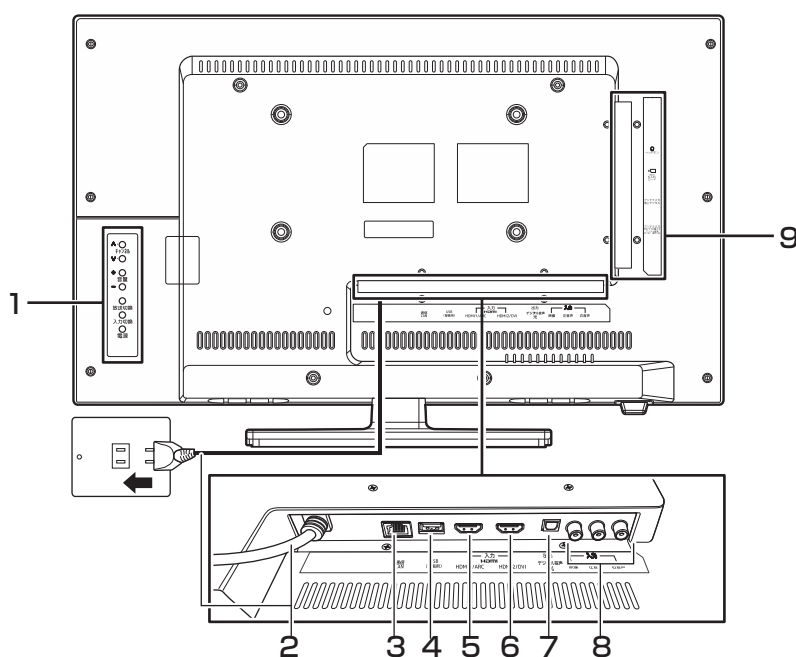
各部の名称（本体）

前面



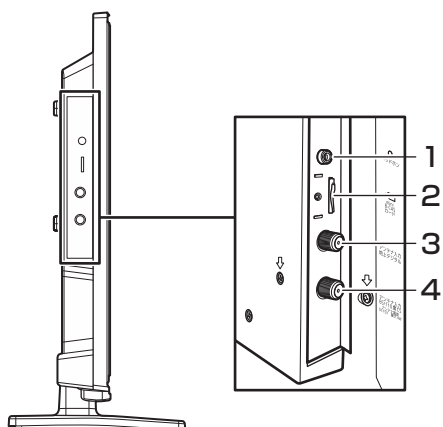
- 1 液晶画面
- 2 電源ランプ
リモコン受光部
電源オフ：消灯
電源オン：青点灯
スタンバイ状態：赤点灯
録画中：青点灯
スタンバイ録画中：紫点灯
- 3 スタンド

背面



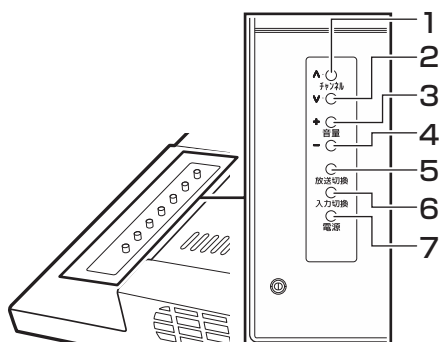
- 1 操作部（※詳細は次ページ）
- 2 電源コード
- 3 LAN 端子
- 4 USB 端子（録画用）
- 5 HDMI1/ARC 入力端子
- 6 HDMI2/DVI 入力端子
- 7 デジタル音声出力（光）
- 8 ビデオ入力端子
- 9 端子部（※詳細は次ページ）

左側面端子部



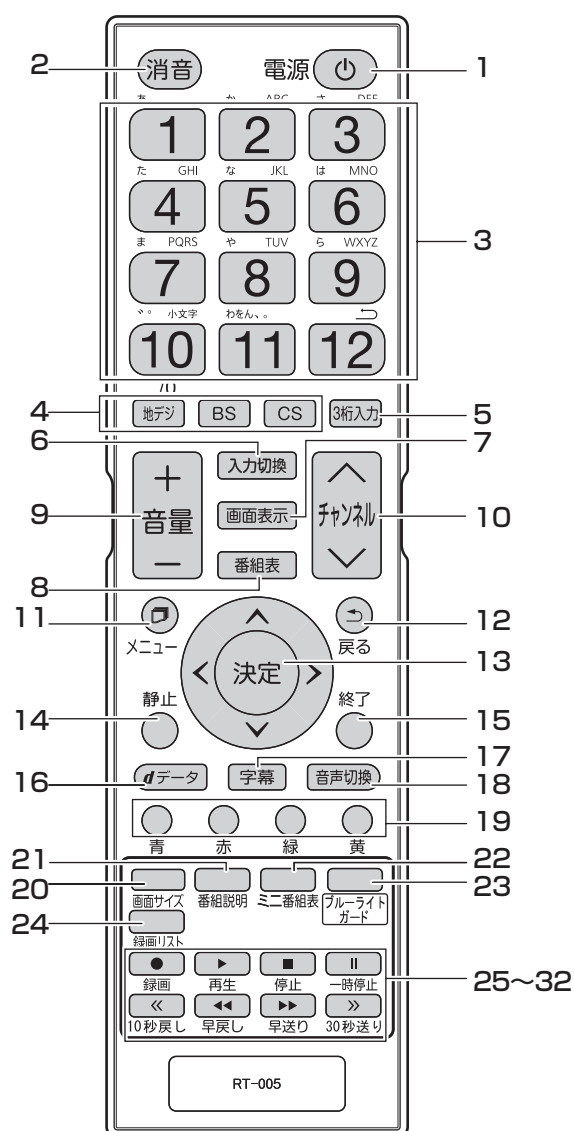
- 1 ヘッドホン端子
- 2 miniB-CAS カード挿入口
- 3 地上デジタルアンテナ入力端子
- 4 BS/110 度 CS デジタルアンテナ入力端子

背面左側操作部



- 1 チャンネル↑ボタン
- 2 チャンネル↓ボタン
- 3 音量+ボタン
- 4 音量-ボタン
- 5 放送切換ボタン
- 6 入力切換ボタン
- 7 電源ボタン

各部の名称 (リモコン)

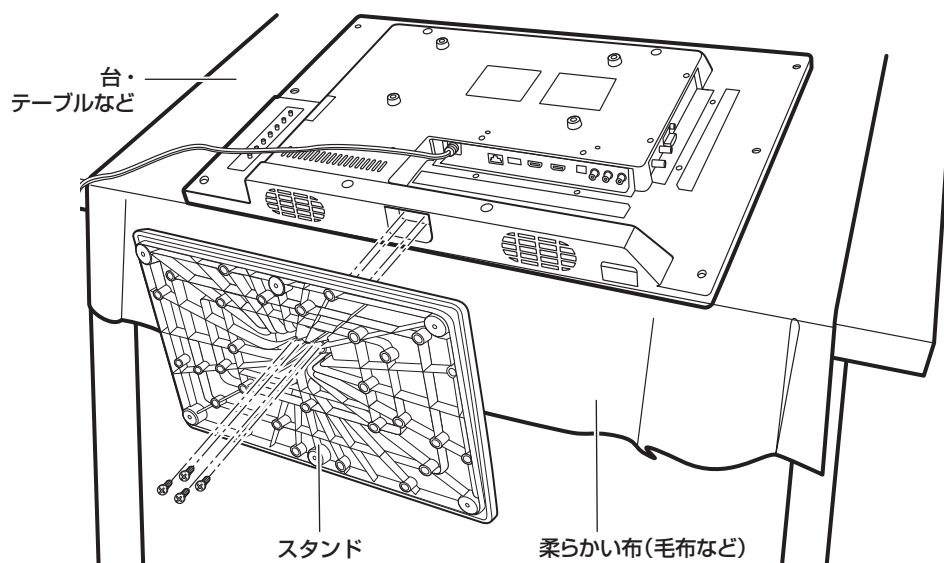


- 1 **電源ボタン**
テレビの電源を「入」「切」します。
- 2 **消音消音ボタン**
音声を一時的に消音にします。もう一度押すと消音を解除します。
- 3 **1～10、11、12数字ボタン**
チャンネルを選択します(1～12)。文字や数字を入力するときに使用します(1～12)。
- 4 **地デジ地デジボタン・BSBSボタン・CSCSボタン**
地上デジタル放送・BSデジタル放送・110度CSデジタル放送に切り換えます。
- 5 **3桁入力3ケタ入力ボタン**
3ケタのチャンネル番号を入力するときに使用します。
- 6 **入力切換入力切換ボタン**
外部入力を切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、入力が切り換わります。
- 7 **画面表示画面表示ボタン**
現在受信している番組や選択している外部入力の情報を表示します。
- 8 **番組表番組表ボタン**
番組表を表示します。

- 9 **音量+/-ボタン**
音量を大きくしたり、小さくしたりします。
- 10 **チャンネルへ/へボタン**
チャンネルを順番に切り換えます。
- 11 **メニューメニューボタン**
メニュー画面を表示します。
- 12 **戻る戻るボタン**
メニュー画面を表示しているときに、1つ前の画面に戻ります。
- 13 **決定決定ボタン**
メニュー画面の選択項目を決定します。
▲▼◀▶ボタン
メニューを選択するときに使用します。
- 14 **静止静止ボタン**
映像画面のみを静止します。
- 15 **終了終了ボタン**
メニュー画面、入力切換、画面表示および番組表を終了します。
- 16 **dデータdデータボタン**
データ放送を表示します。
- 17 **字幕字幕ボタン**
字幕を切り換えます。
- 18 **音声切換音声切換ボタン**
2カ国語/ステレオなど音声を切り換えます。
- 19 **カラーカラーボタン (青、赤、緑、黄)**
メニュー選択時やデータ放送を利用するときに使用します。
- 20 **画面サイズ画面サイズボタン**
画面サイズを切り換えます。
- 21 **番組説明番組説明ボタン**
視聴中の番組詳細を表示します。
- 22 **ミニ番組表ミニ番組表ボタン**
ミニ番組表を表示します。
- 23 **ブルーライトガードブルーライトガードボタン**
ブルーライトガード機能の「オン」「オフ」を切り換えます。
- 24 **録画リスト録画リストボタン**
録画リストを表示します。
- 25 **録画録画ボタン**
録画を開始します。
- 26 **再生再生ボタン**
録画番組を再生します。
- 27 **停止停止ボタン**
録画番組の再生を停止します。
- 28 **一時停止一時停止ボタン**
再生中の録画番組を一時停止します。
- 29 **10秒戻し10秒戻しボタン**
再生中の録画番組を10秒早戻しします。早戻しする秒数は変更が可能です。
- 30 **早戻し早戻しボタン**
再生中の録画番組を早戻しします。
- 31 **早送り早送りボタン**
再生中の録画番組を早送りします。
- 32 **30秒送り30秒送りボタン**
再生中の録画番組を30秒早送りします。早送りする秒数は変更が可能です。

スタンドの取り付け

本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付ける際は、スタンドの取り付け方向に注意して、正しく取り付けてください。



1 台などの上に柔らかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く

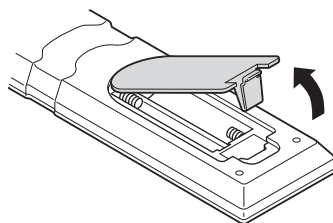
2 上図を参照して、本体にスタンドを差し込み、付属のネジ（4本）で固定する
お手持ちの適切な大きさの＋（プラス）ドライバーを使用してください。

⚠️ご注意

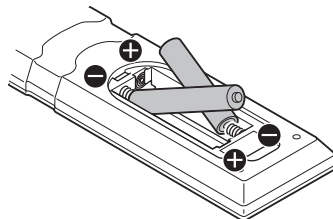
- ・ スタンドの取り付け方向を間違えると、本体が転倒する恐れがあります。
- ・ 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。圧力でパネルガラスが破損する可能性があります。

リモコンの準備と使いかた

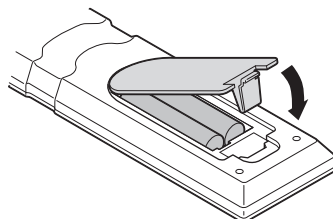
- 1** リモコン裏側の電池ぶたを上方向へ引き上げ、取りはずす



- 2** 乾電池の＋極の方向に注意して、乾電池を入れる



- 3** 電池ぶたを元の位置に取り付ける



⚠️ ご注意

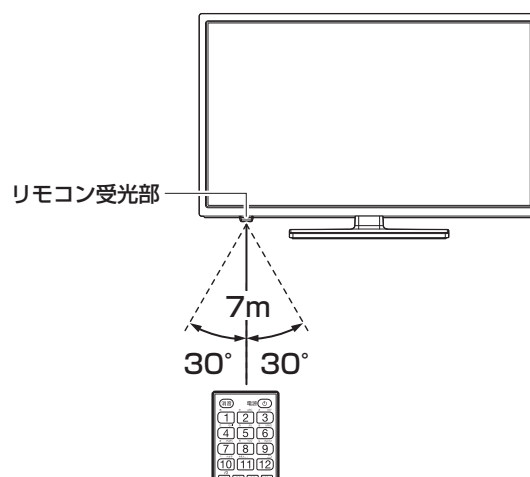
- 新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から液もれすることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の電極の向きが正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

■ お願い

- 乾電池は正しい方向に入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従って処理してください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取りはずしてください。
- 付属の乾電池はお試し用です。早めに新しい乾電池と入れ替えてください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンの操作は、本体前面にあるリモコン受光部の正面から約 7 メートル、左右 30° の範囲でお使いください。



■ お願い

- リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。

アンテナを接続する

⚠️ ご注意

- アンテナを接続する前に、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- ご使用になるアンテナプラグは、タイプAの形状を推奨します。タイプBの形状はアンテナ端子への接続がしにくいものがありますので、ご注意ください。

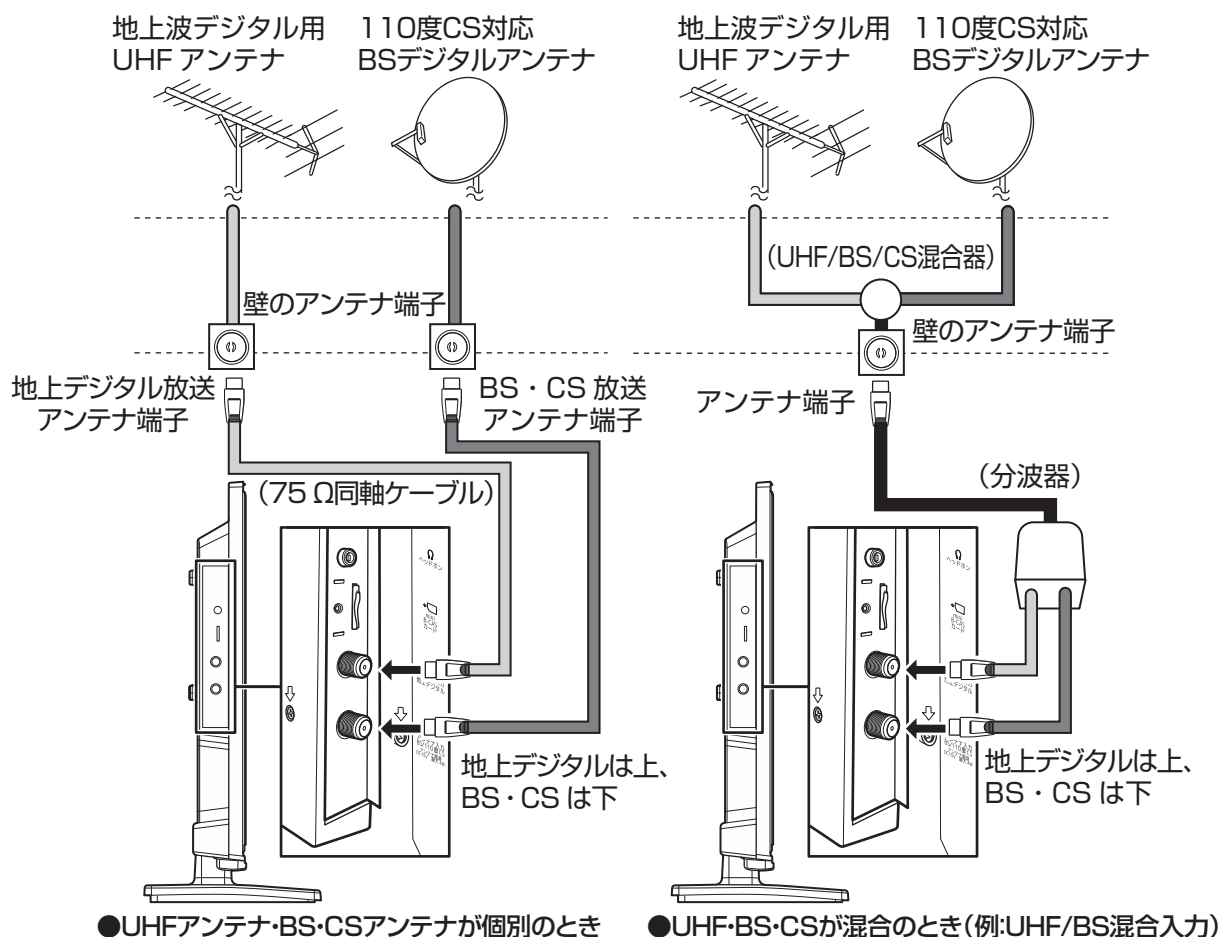


アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送を視聴するにはUHF対応のアンテナ、BS・110度CSデジタル放送を視聴するには110度CS対応BSデジタルアンテナを使用してください。

お使いのアンテナがUHF対応でも、地域やアンテナ設置状況によって、取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になる場合があります。

接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは本製品に付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切な市販品を別途お買い求めください。



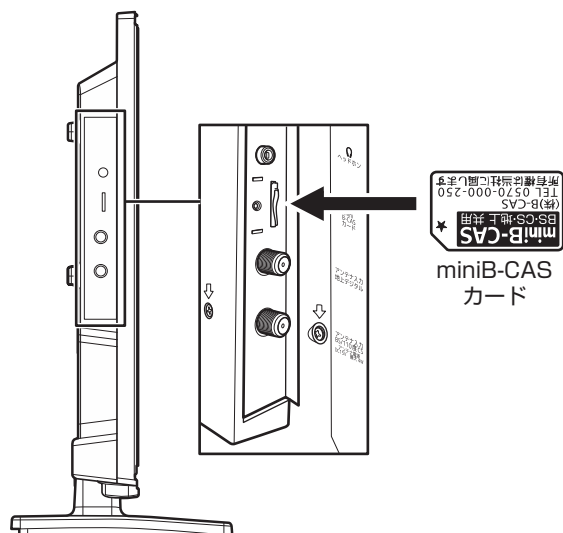
|| お知らせ

- 天候などの影響により受信信号レベルが変動します。アンテナレベルが50以上になるように設定してください。(68ページ参照) アンテナレベルが足りないときはブースターなどで調整してください。
- ケーブルテレビで受信しているときは、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 従来のBSアナログアンテナでは110度CSデジタル放送を受信することはできません。BSデジタル放送は受信することができますが、一部のアンテナにはデジタル放送を受信するための機能が付いていないことがあります。特定のチャンネルが受信できなかったり受信状況が悪いときには、お買い求めいただいたアンテナの製造元や販売店にご相談ください。

B-CAS カードを入れる／電源を入れる

B-CAS カードを入れる

本機でデジタル放送を視聴するには、miniB-CAS カードが必要です。付属の miniB-CAS カードを常に miniB-CAS カード挿入口に入れておいてください。



⚠️ ご注意

- ・ 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で miniB-CAS カードの抜き差しを行なってください。miniB-CAS カードを挿入するときは、カードの向きにご注意ください。切り欠きが下になるようにしっかりと挿入してください。
- ・ miniB-CAS カードを挿入するときは、「カチッ」という音がするまで確実に挿入してください。挿入が不十分だと、カードが正常に認識されません。
- ・ miniB-CAS カードを挿入するときに、miniB-CAS カードの金色端子部に決して指で触れないよう注意してください。もし触れたときは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- ・ 間違った差し込みによる miniB-CAS カードの破損、紛失などの場合は、製品保証期間内でもお客様の費用負担（有償）となりますのでご注意ください。

B-CAS カードのお問い合わせについて

B-CAS カードについては、下記にお問い合わせください。

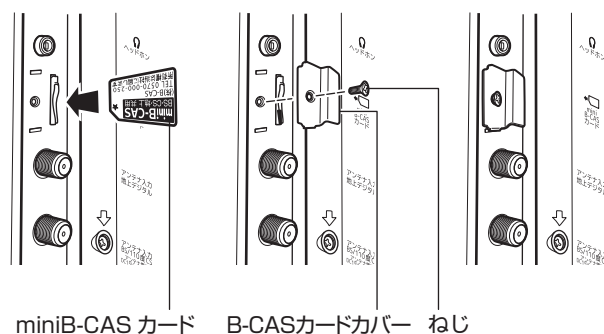
株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター

TEL 0570-000-250

B-CAS カードカバーを取り付ける

miniB-CAS カードの脱落や紛失を防止するためのカバーが付属しています。

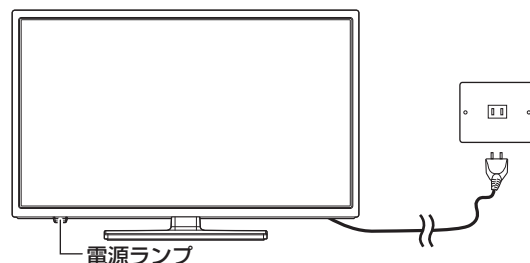
- ① miniB-CAS カードを正しく取り付ける。
- ② B-CAS カードカバーの足（2 か所）を本体の穴に取り付ける。
- ③ B-CAS カードカバーの上から付属のねじを取り付ける。



※ B-CASカードカバーを取り付けたあとでは、miniB-CAS カードを取り付けることはできません。

電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込む



2 リモコンの(⏻)電源ボタンまたは本体の電源ボタンを押す

本体前面の電源ランプが青色に点灯し、電源が入ります。
お買い上げ後はじめて電源を入れたときは、チャンネル設定が必要です。17ページ「はじめでの設定」を参照してください。

■お知らせ

電源を入れてから画面が表示されるまでに約 10 秒時間がかかります。

本体前面の電源ランプが消灯している場合は、本体の電源ボタンを押してください。

⚠️ ご注意

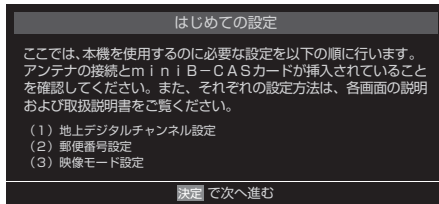
- ・ 本体の電源ボタンで電源を切ると、電源ランプが消灯します。この状態ではリモコンでの操作ができなくなります。

チャンネル設定をする

はじめての設定

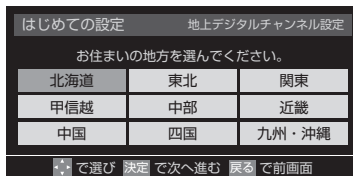
miniB-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」で、チャンネルをお住まいの地域に設定してください。

- 1 「はじめての設定」画面が表示される
アンテナ接続と miniB-CAS カードの挿入を確認して **決定** を押す

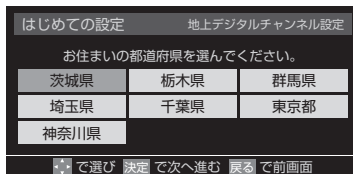


「はじめての設定 地上デジタルチャンネル設定」画面が表示されます。

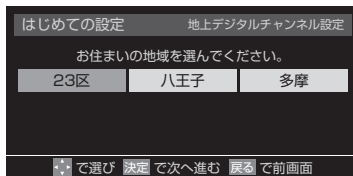
- 2 ▲▼◀▶でお住まいの地方を選び、**決定**を押す



- 3 ▲▼◀▶でお住まいの都道府県を選び、**決定**を押す



- 4 ▲▼◀▶でお住まいの地域を選び、**決定**を押す

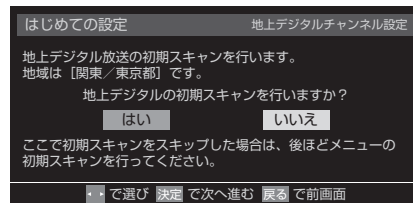


お住まいの地域名が選択できないときは、最も近い地域名を選択してください。

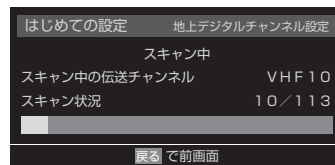
お知らせ

- ・ **戻る** を押すと、ひとつ前のメニュー表示に戻ります。
- ・ 画面の最下部に、簡易メニュー操作ガイドが表示されます。
- ・ 一定時間メニューを表示したままにすると、自動的にメニュー表示は消えます。

- 5 地上デジタルの初期スキャン画面が表示される



- 6 「はい」が選択されていることを確認して **決定** を押す
地上デジタルチャンネルの初期スキャンが始まります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。



スキャンが終了すると、設定内容が表示されます。

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK E 東京
3	テレビ	t v k
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS
7	テレビ	テレビ東京
8	テレビ	フジテレビジョン
9	テレビ	TOKYO MX
10	テレビ	テレ玉
11	---	---
12	テレビ	放送大学

- 7 リモコンのチャンネル番号割り当てを確認して、**決定**を押す

お知らせ

- ・ 自動設定された内容を変更したいときは、「手動設定」で設定し直すことができます。(58 ページ参照)
- ・ 地域によっては地上デジタルのチャンネル設定番号が変更になる場合があります。その地域にお住まいの方は、チャンネルの再スキャンをしてください。(58 ページ参照)

チャンネル設定をする（つづき）

郵便番号の設定

お住まいの地域に密着したデータ放送（天気予報・選挙速報など）を視聴するための設定です。

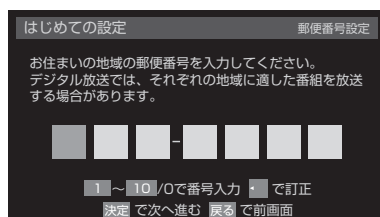
郵便番号を設定することで、地域を指定できます。

8 お住まいの地域の郵便番号を〔1〕～〔10〕で入力して

〔決定〕を押す

入力を間違えたときは、◀でカーソルを戻してもう一度入力します。

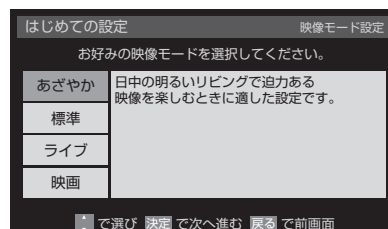
郵便番号入力で上3ケタを入力して〔決定〕を押すと、残りの下4ケタは自動的に「0」が入力されます。



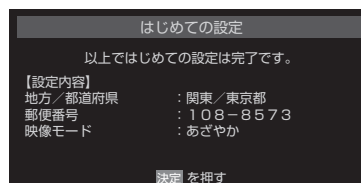
映像モードの設定

お好みの映像モードに設定してください。

9 お好みの映像モードを選び、〔決定〕を押します。



10 以上で「はじめての設定」は完了です

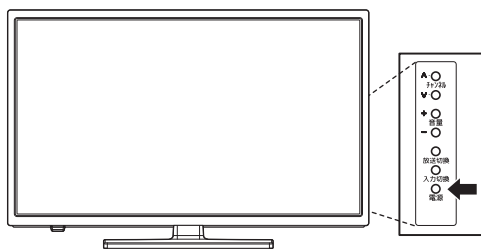


テレビを見る

1 リモコンの〔電源〕ボタンまたは本体の電源ボタンを押す

本体前面の電源ランプが青色に点灯します。

しばらくすると、前回見ていたチャンネルまたは外部入力を表示します。



2 〔地デジ〕〔BS〕〔CS〕で見たい放送を選ぶ

3 数字ボタン（〔1〕～〔12〕）、チャンネル▲▼ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ

チャンネル▲▼ボタンは、押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。

チャンネル番号の入力は、〔3桁入力〕または〔x.y.z〕を押し、▲▼と〔決定〕で「その他の操作」⇒「チャンネル番号入力」を選び、▲▼で地デジ/BS/CSを選んで、数字ボタン（〔1〕～〔10〕）で3ケタのチャンネル番号を入力します。

4 音量+/-で音量を調節する

◎ 音だけを消したいとき

1 〔消音〕を押す

画面右下に「消音」と表示されます。



2 もう一度〔消音〕を押すと、音量が元に戻る

音量+/-を押しても音が出ます。

チャンネル情報を見る／番組説明を見る

チャンネル情報を見る

画面表示を押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などを表示できます。

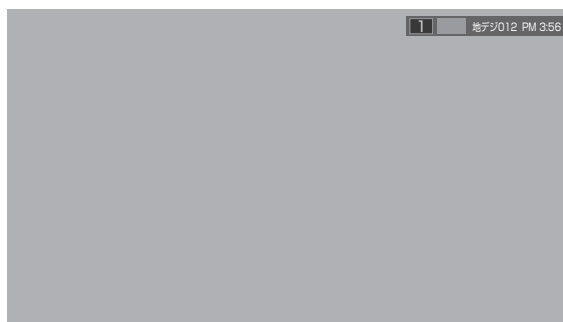
1 **画面表示**を押す

2 もう一度**画面表示**を押すと、画面表示が消える

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。



しばらくすると、画面下部の表示と画面サイズ表示が消え上部の表示のみになります。



もう一度**画面表示**を押すと、上部の表示も消えます。

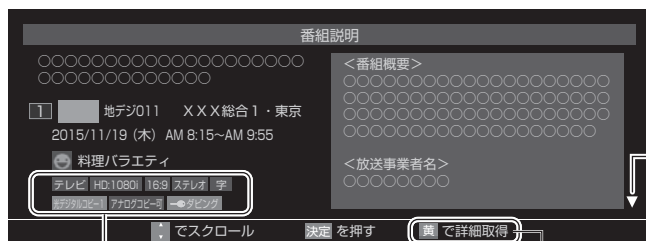
番組説明を見る

1 **番組説明**を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、○を押します。

- ・ 詳細情報が取得できなかったときには、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
- ・ 詳細情報がなかったときには、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。



番組についての情報を示すアイコン

録画中は表示されません。

続きがあることを示しています。
▲▼で進めること・戻すことができます。

3 説明画面を消すには**決定**を押す

デジタル放送の便利な機能を使う

文字スーパーを表示する

文字スーパーは、視聴している番組とは連動しないニュース速報などを表示するものです。

文字スーパーの表示は、を押して「文字スーパー表示設定」で設定することができます。(58 ページ参照)

字幕を表示する

字幕のついた番組を視聴しているときは、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。

1

を押す



押すたびに表示する字幕が切り換わります。

- ※ 字幕放送を受信時のみ字幕は表示されます。
- ※ 字幕が映像自体に表示されている場合は、字幕切換を「オフ」に設定しても字幕が表示されます。

⚠️ ご注意

- 字幕の表示が、放送信号の処理の速度によって、多少遅れて表示されたり早く消えたりすることがありますが、故障ではありません。

音声を切り換える

1

を押す

押すたびに別の音声に切り換わります。



■ お知らせ

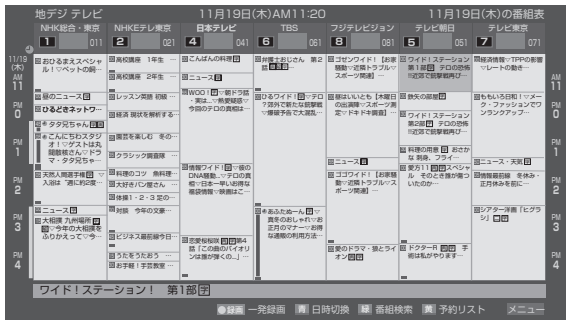
- 音声表示は受信している放送によって異なります。
- 切り換える音声がない場合は「音声多重放送でないため、切り換えられません。」と表示されます。



番組表を見る

デジタル放送は、放送局から送られてくる情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を確認することができます。最大 7 日先までの放送予定を確認することができます。

- 1 デジタル放送視聴中に「番組表」を押す
視聴中のチャンネル番組表が表示されます。



- 2 番組表を消すには^{戻る}、または^{終了}を押す

番組表の見かた

[番組表画面：7チャンネル表示の例]



- ・番組表は設置後すぐに表示させることはできません。
- ・番組表が正しく表示されないときは、「番組表を更新する」(23 ページ)を試してみてください。

お知らせ

- ・「番組表」を押すと約 2 秒で表示されます。
- ・「はじめての設定」直後は、まだ番組情報を完全に取得できていないため、すべてのチャンネル番組表が表示されない場合があります。このようなときは、^{メニュー}を押して「番組情報の取得」を選択し、番組情報を取得してください。(表示されるまでに時間がかかったり、情報が取得できなかったりすることがあります)
- ・リモコンの電源ボタンで電源を切った場合は、毎日午前 0 時 10 分と午前 6 時 00 分に、自動的に番組情報を取得するため、この操作は不要です。(本体の電源ボタンで電源を切った場合は、番組情報を自動的に取得できません)

見たい番組を探す

1

番組表を押す

- 番組表が表示されます。
- [地デジ]、[BS]、[CS]で放送の種類を変えます。
- 放送メディアの種類（テレビ放送・ラジオ放送・データ放送）を切り換えるときは、を押して「テレビ／ラジオ／データ切替」で選びます。
- 番組表を消すときは、またはを押します。

2

現在放送中の番組を▲▼◀▶で選ぶ

- 選んだ番組の番組説明を見るには、を押して「番組説明」を選びます。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには、◀▶を押します。

3

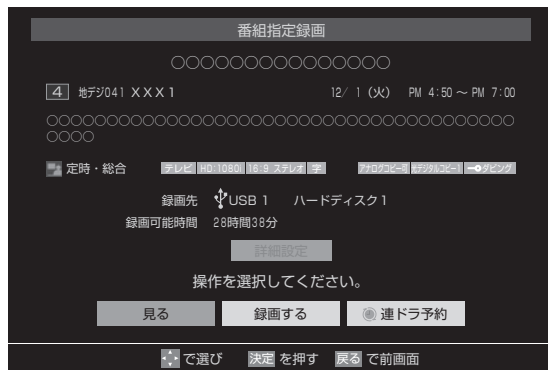
決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。36ページの手順3をご覧ください。

4

▲▼◀▶で「見る」を選び、決定を押す

- 画面の図はUSBハードディスクが接続されている場合の例です。
- USBハードディスクでの録画中に視聴できる番組については「録画中の番組視聴について」33ページをご覧ください。



- 「見る」を選びます。（「録画する」「連ドラ予約」は36ページ参照。）
- 選んだ番組の放送画面になります。

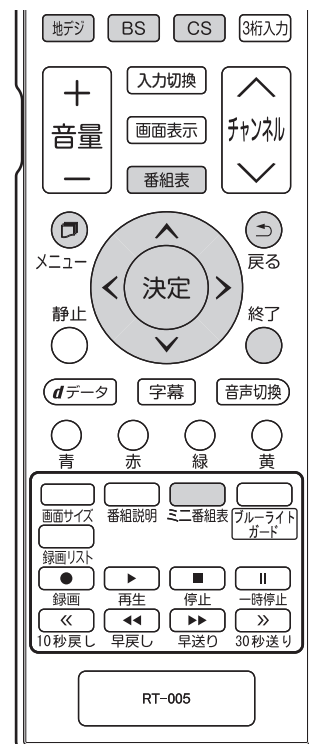
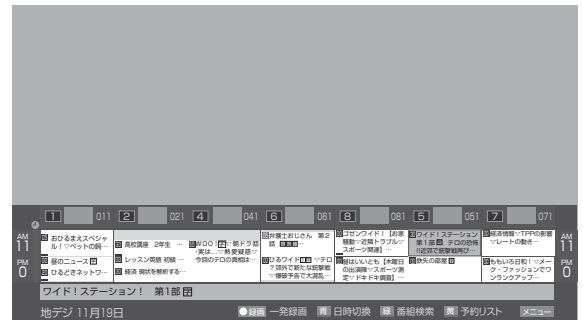
ミニ番組表を使う

番組を見ながら、画面にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。

1

ミニ番組表を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- 番組表の表示中に[番組表]を押した場合にもミニ番組表が表示されます。
- 操作方法は、番組表と同じです。



番組表の便利な機能を使う

番組表を表示させたあと、カラーボタンや、を押すことでさまざまな便利機能を使うことができます。番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします。

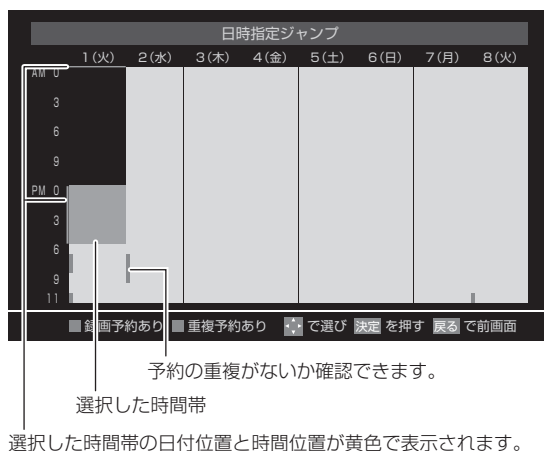
※ミニ番組表では一部の機能を使用できません。

指定した日時の番組表を表示させる

日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1  (日時切換)を押す

2 ▲▼◀▶で日時を選び、を押す



予約の重複がないか確認できます。

選択した時間帯

選択した時間帯の日付位置と時間位置が黄色で表示されます。

予約の内容を確認する

予約の内容を確認することができます。

1  (予約リスト)を押す

- ・ 予約リストが表示されます。
- ・ 予約内容の確認や取り消しなどができます。詳しくは「予約を確認・変更する」42 ページをご覧ください。

番組表を更新する

番組表で一部表示されない部分があるときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 を押し、▲▼で「番組情報の取得」を選び、を押す

チャンネル表示を切り換える

地上デジタル放送やBS デジタル放送（どちらもテレビ放送のみ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切り換えができます。

1 マルチ表示に切り換える放送局の番組（または1チャンネル表示するときに残すチャンネルの番組）を選び、を押す

2 ▲▼で「マルチ表示」（または「1チャンネル表示」）を選び、を押す

メニューには現在の番組表の表示とは逆のモード（「マルチ表示」、「1チャンネル表示」のどちらか）が表示されています。

1チャンネル表示

マルチ表示



マルチ表示させるチャンネルの番組を選択 1チャンネル表示のときに残すチャンネルの番組を選択

文字サイズを変更する

番組表の文字が小さくて見えにくいときに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 を押し、▲▼で「文字サイズ変更」を選び、を押す

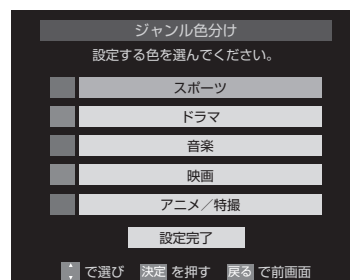
2 希望の文字サイズを▲▼で選び、を押す

ジャンル別に色分けする

番組のジャンル（分野）別に色分けをすると、見たい番組を探すのに便利です。お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。※各放送メディアに共通の設定になります。

1 を押し、▲▼で「ジャンル色分け」を選び、を押す

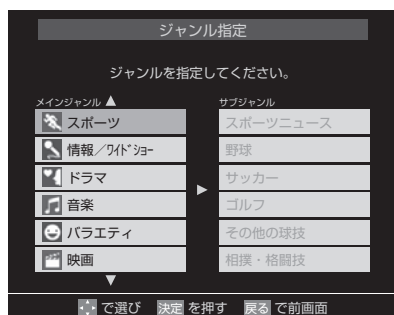
2 設定する色を▲▼で選び、を押す



番組表の便利な機能を使う（つづき）

3 ▲▼◀▶でジャンルを選び、(決定)を押す

- (決定)を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ばと、色分け表示がなくなります。



4 ▲▼で「設定完了」を選び、(決定)を押す

ジャンルアイコン一覧

ニュース／報道	アニメ／特撮
スポーツ	ドキュメンタリー／教養
情報／ワイドショー	劇場／公演
ドラマ	趣味／教育
音楽	福祉
バラエティ	etc その他
映画	

番組記号の意味を確認する

番組記号 (囲、国、字など) の意味を調べることができます。

1 (メニュー)を押し、▲▼で「番組記号一覧」を選び、(決定)を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 確認を終えたら(決定)を押します。

表示チャンネル数を設定する

番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 (メニュー)を押し、▲▼と(決定)で「番組表表示設定」⇒「表示チャンネル数設定」の順に進む

2 ▲▼で「7チャンネル表示」、「6チャンネル表示」のどちらかを選び、(決定)を押す

チャンネル数を6にすると、ひとつのチャンネルの幅が大きくなり、内容が読みやすくなります。チャンネル数を7にすると、一度に確認できるチャンネル数が増えます。

表示時間数を設定する

番組表に表示される時間数を切り換えることができます。

1 (メニュー)を押し、▲▼と(決定)で「番組表表示設定」⇒「表示時間数設定」の順に進む

2 ▲▼で「6時間表示」、「4時間表示」のどちらかを選び、(決定)を押す

チャンネルの並び順を設定する

番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 (メニュー)を押し、▲▼と(決定)で「番組表表示設定」⇒「チャンネル並び順設定」の順に進む

2 ▲▼で以下のどちらかを選び、(決定)を押す

- 通常
「地域別チャンネル表」(69ページ)に記載されたチャンネル順に並びます。
- チャンネルボタン優先
ワンタッチ選局ボタン
(1)～(12)の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 (メニュー)を押し、▲▼と(決定)で「番組表表示設定」⇒「番組概要表示設定」の順に進む

2 ▲▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、(決定)を押す

番組表のカーソル表示位置を設定する

1 (メニュー)を押し、▲▼と(決定)で「番組表表示設定」⇒「地デジ表示設定」の順に進む

2 ▲▼で以下のどちらかを選び、(決定)を押す

- 視聴チャンネル中央表示
視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- チャンネル順優先表示
お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。
本機能は地上デジタル放送の番組表でのみ使用できます。

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。
- 「チャンネルスキップ設定」で「受信」に設定したチャンネルがない放送メディアに切り換えることはできません。

1 を押し、▲▼で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び、を押す

2 ▲▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選び、を押す

条件を指定して番組を探す

見たい番組を、番組のジャンル（分野）やキーワードなどの条件を指定して探すことができます。

1

番組表を押す

- ・ 番組表が表示されます。

2

緑 (番組検索) を押す

- ・ 番組検索画面が表示されます。

3

検索するグループのタブを ◀▶ で選ぶ

- ・ 以降の手順で指定する検索条件のうち、「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」は検索グループごとに記憶されます。

検索グループごとのタブ

4

検索条件を指定する

- ・ 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定する

- ① ▲▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
- ② 指定するジャンルを ▲▼◀▶ で一つ選び、決定を押す

指定しないときは「指定しない」を選びます。

「キーワード」を指定する

- ① ▲▼で「キーワード」を選び、決定を押す
- ② 指定するキーワードを ▲▼◀▶ で選び、決定を押す
 - ・ お買い上げ時は登録されていません。

■新しいキーワードを登録する

- ① ▲▼◀▶で「新規登録」を選び、決定を押す
 - ・ 文字入力画面が表示されます。
- ② キーワードを入力して決定を押す

- ・ 文字入力のしかたは「文字を入力する」28ページをご覧ください。
- ・ キーワードは14個まで登録できます。

■キーワードを編集する

- ① 編集するキーワードを ▲▼◀▶ で選び、決定を押す
- ② キーワードを編集して決定を押す

■キーワードを削除する

- ① 削除するキーワードを ▲▼◀▶ で選び、決定を押す
- ② ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

「番組記号」を指定する

- ① ▲▼で「番組記号」を選び、決定を押す
- ② 指定する番組記号を ▲▼◀▶ で選び、決定を押す

「日付」を指定する

- ① ▲▼で「日付」を選び、決定を押す
- ② 指定する日付を ▲▼◀▶ で選び、決定を押す
 - ・ 決定を押すたびに、☑（指定する）と□（指定しない）が交互に切り換わります。
 - ・ 7日先まで指定できます。

指定する日に ✓ が付くようにします。

- ③ 指定が終わったら、▲▼◀▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定する

- ① ▲▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- ② 指定する項目を ◀▶ で選び、▲▼で内容を選ぶ
 - ・ 放送の種類.....すべて／BS／CS／地デジ
 - ・ 放送メディア...すべて／テレビ／ラジオ (BS、110度CSのみ)／データ
 - ・ チャンネル.....指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて
- ③ 指定が終わったら決定を押す

「有料番組」を指定する

- ① ▲▼で「有料番組」を選び、決定を押す
- ② ▲▼で以下から選び、決定を押す
 - ・ 含む
 - ・ 含まない

- 5** ▲▼で「検索開始」を選び、**決定**を押す
- 選択中のタブの検索グループに、手順 4 で指定した検索条件が上書きで保存されます。

- 6** 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲▼で選び、**決定**を押す
- 番組説明を見るには**決定**を押す前に^黄（番組説明）を押します。

番組検索結果				
検索グループ名：バラエティ				
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	放送中	黄	時011 12 / 1 (火) PM 4:25
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	放送中	黄	時021 12 / 1 (火) PM 4:30
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		黄	時021 12 / 1 (火) PM 4:55
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		黄	時03 12 / 1 (火) PM 6:00
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		黄	時021 12 / 1 (火) PM 6:20
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		黄	時021 12 / 1 (火) PM 6:55
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		黄	時071 12 / 1 (火) PM 6:57
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		黄	時041 12 / 1 (火) PM 7:00
☐	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		黄	時051 12 / 1 (火) PM 7:00

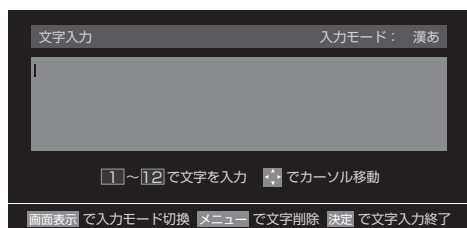
☐ で選ぶ ☐ 決定を押す ☐ で前画面 ☐ 番組説明

- 現在放送中の番組を選んだときは「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。36 ページの手順 3 をご覧ください。

- 7** ▲▼◀▶で「見る」を選び、**決定**を押す
- 選んだ番組の放送画面になります。

文字を入力する

キーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



タイトルは入力場面によって異なります

1 ①～⑫で文字を入力する

- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：じっけん

⇒ ③ (2回)、⑩、④ (6回)、② (4回)、⑪ (3回)
じ っ け ん
「っ」の別の入力方法⇒ ④ (3回)、⑩ (2回)
っ

- 文字に続けて ⑩ を押せば、濁点 (・) や半濁点 (゜) の入力および小文字変換ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力したあと、▶ を押してから次の文字を入力します。

入力例：あい ⇒ ① ▶ ① (2回)
あ い

- 文字入力モードを変える時は、画面表示 を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を ▲ ▼ ◀ ▶ で選んで入力します。

文字を削除するには

- 1 文字を削除するには、ⓧ を短く押します。
カーソルの右に文字がないときは、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、ⓧ を押し続けます。カーソルより右に文字列がないときは、文字がすべて削除されます。カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、決定 を押す
- 漢字に変換するときは、▼ を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら決定 を押す
- 希望する漢字に変換されない場合は、◀ ▶ で変換する範囲を変え、▲ ▼ で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら決定を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作画面に戻ります。

文字入力モード

1 画面表示 を押し ▲ ▼ ◀ ▶ で入力モードを選び、決定 を押す

「漢あ」	漢字変換モード	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナモード	カタカナを入力できます。
「a A」	全角英字モード	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字モード	半角の英字を入力できます。
「1 2」	全角数字モード	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字モード	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号モード	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号モード	半角の記号を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる文字入力モードの種類が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	文字入力モード			
	漢字変換モード	全角カナモード	英字モード	数字モード
①	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
②	か→き→く→け→こ →カ→キ→ク→ケ→コ	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→キ→ク→ケ→コ	a→b→c →A→B→C	2
③	さ→し→す→せ→そ →サ→シ→ス→セ→ソ	サ→シ→ス→セ→ソ →サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
④	た→ち→つ→て→と →タ→チ→ツ→テ→ト	タ→チ→ツ→テ→ト →タ→チ→ツ→テ→ト	g→h→i →G→H→I	4
⑤	な→に→ぬ→ね→の →ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ →ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
⑥	は→ひ→ふ→へ→ほ →ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ →ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
⑦	ま→み→む→め→も →マ→ミ→ム→メ→モ	マ→ミ→ム→メ→モ →マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
⑧	や→ゆ→よ →ヤ→ユ→ヨ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
⑨	ら→り→る→れ→ろ →ラ→リ→ル→レ→ロ	ラ→リ→ル→レ→ロ →ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
⑩	*→小文字変換 →*→小文字変換	*→小文字変換 →*→小文字変換	小文字変換	0
⑪	わ→を→ん→わ→、→。 →→ (スペース)	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。 →→ (スペース)	*1	*
⑫	*2 逆方向へ入力	*2 逆方向へ入力	*2 逆方向へ入力	#

- 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

*1 全角英字の場合 → / : ; → → → → → @ → (スペース)

半角英字の場合 → / : ; → → → → → @ → (スペース)

*2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻ります。

お知らせ

- 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字: 青色背景 / 未確定の文字: 白色背景 / 漢字変換候補選択中の文字: 黒色背景 / 確定した文字: 背景なし
- 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時にⓧを押すと、すべての文節が未変換状態に戻ります。

データ放送を見る

データ放送

- デジタル放送は映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送を受信できます。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルとは独立した別のチャンネルで行なわれているデータ放送があります。

ラジオ、独立データ放送を楽しむ

- 1 デジタル放送視聴中に  を押す
- 2 ▲▼で「その他の操作」を選び、 を押す
- 3 ▲▼で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び、 を押す
- 4 切り換えたい項目（「テレビ」「ラジオ」「データ」）を▲▼で選び、 を押す

連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルでは、天気予報やニュース、番組案内などの連動データ放送を提供している場合があります。

- 1  ボタンを押す
放送局により表示される内容が異なります。
画面に表示された操作指示に従ってください。
- 2 ▲▼◀▶で移動し  ボタンを押す
選択した情報を見ることができます。
- 3  ボタンを押すと通常画面に戻る
 を押し、▲▼と  で「その他の操作」⇒「データ放送終了」を押しても終了できます。

双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。（本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません）
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



非リンク型サービス
放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。（文字表示は数秒で消えます）

本機は SSL（Secure Sockets Layer）などの暗号通信に対応しています。そのサービスの際に、このアイコンが表示されます。

お知らせ

- データ放送取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、 は「データ放送ボタン」、「データボタン」と表示される場合があります。
- 地上デジタル放送ではラジオ放送を休止しています。（2016年4月現在）
テレビ放送チャンネルとは独立した別チャンネルで行なわれているデータ放送の中には、本機で利用できないものもあります。
- USB ハードディスクに録画した番組を再生している時にも、データ放送をご覧になれますが、この時に表示されるのは番組を録画した時点のデータ放送です。またこの時は、ネットワーク接続はできないので、双方向通信などはご利用できません。

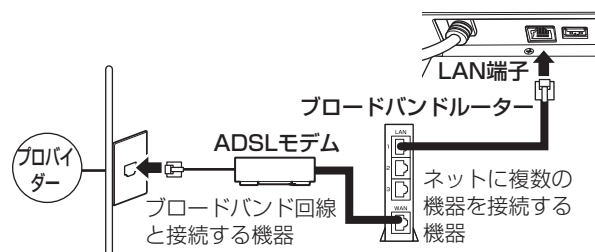
双方向通信を楽しむために

接続する前に

- 接続する前には、本機と周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ご利用の回線契約によっては、端末を複数台接続できないことがあります。本機やパソコンなどの接続について詳細は、ご利用の回線業者にお問い合わせください。
- ブロードバンド環境（ADSL回線／CATV回線／光回線などでプロバイダーと接続されて高速でインターネット接続できる環境）がない場合には、まずインターネット接続サービスプロバイダーや回線などを提供している回線事業者と契約する必要があります。詳細はお買い上げの販売店や、各プロバイダー、回線事業者にお問い合わせください。契約後、実際に回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかることがあります。
- プロバイダーに接続するためのユーザーIDやパスワードを、本機に登録することができません。接続に認証が必要なときは、プロバイダーから提供される設定情報（ユーザーIDやパスワード、IPアドレス、DNSなど）をブロードバンドルーターに設定してください。設定についての詳細は、各ブロードバンドルーターの説明書をご覧ください。
- 接続機器にLANケーブルを接続する端子が1つしかない場合は、ネットワーク・ハブをご用意ください。
- LANケーブルは市販の10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類あります。ご使用の形態により、使用するケーブルをお選びください。詳しくは各周辺機器の取扱説明書をご覧ください。
- ADSLモデムとルーターが一体化されていることもあります。それぞれの取扱説明書もお読みください。
- 各種設定にはパソコンが必要なことがあります。パソコンをお持ちでない場合は、お買い上げになった販売店や、プロバイダー、回線事業者にご相談ください。
- LAN接続において、無線LAN機器を使った接続は動作保証外となります。
- 本機はペーパービュー（PPV: PAY PER VIEW／有料放送）には対応しておりません。あらかじめご了承ください。
- 回線の接続が終わったら、本機のメニューから「通信設定」をしてください。（58ページ）

ブロードバンド環境への接続

ADSL 回線のとき

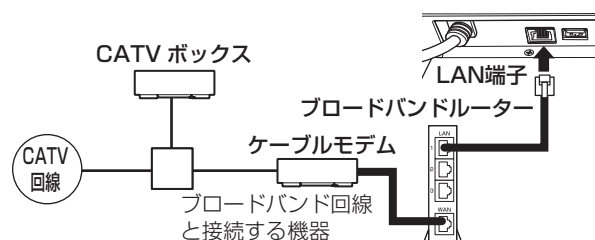


- ※ 接続のときは各機器の説明書も合わせてお読みください。
- ※ 接続・設定・そのほか詳細については各プロバイダー、回線事業者にお問い合わせください。

△ご注意

電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に挿入しないでください。本機の故障の原因となります。

CATV 回線のとき



- ※ 接続のときは各機器の説明書も合わせてお読みください。
- ※ 接続・設定・そのほか詳細については各プロバイダー、回線事業者にお問い合わせください。

光回線のとき



- ※ 接続のときは各機器の説明書も合わせてお読みください。
- ※ 接続・設定・そのほか詳細については各プロバイダー、回線事業者にお問い合わせください。

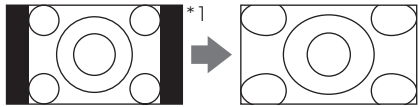
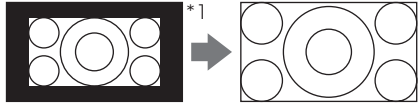
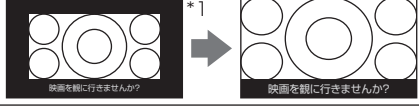
画面サイズを変える

視聴する番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1 画面サイズボタンを押す

押すたびに画面サイズが切り換わります。

- メニューの「画面サイズ切換」からも画面サイズを切り換えることができます。

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説明
4:3	ワイド		ワイド画面で 4:3 の映像を楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像を引き伸ばして表示します。
	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックス「LB」）を拡大して表示します。
	映画字幕		ワイド映像の下に字幕が入っているレターボックスのときに、字幕を隠れにくく表示します。
	フル		DVDソフトなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示します。
	ノーマル		4:3 の映像をそのままの比率で表示します。
16:9	フル		16:9 の映像を画面いっぱいに表示します。
	ワイド ^{*2}		左右に帯（黒や模様など）のある 16:9 の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像を引き伸ばして表示します。
	ズーム ^{*2}		上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある 16:9 の映像をワイド画面で楽しむモードです。
ゲーム ^{*4}	ゲームフル		ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示します。
	ゲームノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示します。（図は 4:3 の例です）
HDMI	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま画面に表示します。映像のない部分は黒く表示されます。

^{*1} 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。

^{*2} デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の 16:9 の映像で切り換えることができます。

^{*3} 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。

^{*4} ゲームについては、映像モードで「ゲーム」が選択されている場合のみ選択が可能となります。なお、映像モードが「ゲーム」の場合、メニューの表示が「画面サイズ切換」から「ゲーム画面サイズ」になります。

^{*5} 左側の図は画面サイズのモードを「ゲームノーマル」にした場合の見えかたです。

USB ハードディスク録画・予約機能について

本機では市販の外付け USB ハードディスクを接続することにより、本機で受信したデジタル放送番組を録画することができます。

録画できる機器と番組

本機に接続できるハードディスク

最大容量 2TB

※ 接続確認済み USB ハードディスクはホームページでご確認ください。

<http://doshisha-av.com/>

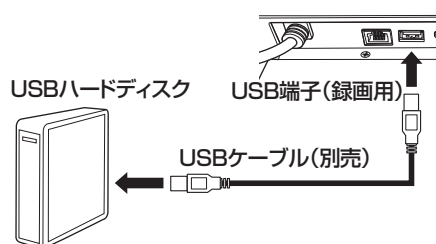
本機で録画できる番組

地上デジタル放送

BS/110度CS デジタル放送

USB ハードディスクの接続

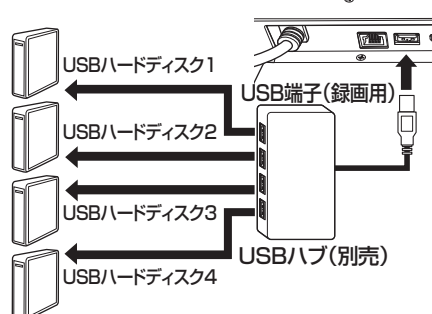
市販の USB ケーブルで、本機背面の USB 端子（録画用）に接続します。



複数のUSBハードディスクを接続する

USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。

※ USB ハードディスクを本機に 8 台まで登録できます（ただし、同時に接続できるのは 4 台までです）。



△ご注意

- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していた USB ハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していた USB ハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。

- 本機に接続した USB ハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて「USB ハードディスクを取りはずす」34 ページの手順で「機器の取りはずし」の操作をしてください。
- USB ハードディスクの動作中は、USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。
録画した番組が消えたり、USB ハードディスクが故障したりする原因となります。

■お願い

- 複数の未登録 USB ハードディスクを接続した状態で本機の電源を入ると、不特定の順番で登録が始まります。
USB ハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1 台ずつ接続して登録の処理が終わったら次の USB ハードディスクを接続するようにしてください。
- 登録の手順については、次ページの「USB ハードディスクを登録する」をご覧ください。

■お知らせ

- 複数台の USB ハブを経由して本機に USB ハードディスクを接続することはできません。
- 5 ポート以上の USB ハブに 5 台以上の USB ハードディスクを接続しても、本機が認識できるのは 4 台までです。
- USB ハブの中には内部のハブが複数段になっているものがあります。そのような USB ハブで接続した場合、本機が USB ハードディスクを認識しないことがあります。
- AC アダプターのない USB ハブでは正しく動作しないことがあります。

USB ハードディスクの自動削除機能について

- USB ハードディスクの容量が足りない場合に、日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能です。
- お買い上げ時には、USB ハードディスクの「自動削除設定」47 ページが「削除する」に設定されています。
- 録画番組が自動的に削除されないようにするときは、「自動削除設定」を「削除しない」に設定するか、または録画番組を保護します。

USB ハードディスク録画・予約機能について

USB ハードディスクに録画できる時間の目安

USB ハードディスクで録画できる時間の目安は以下のようになります。

※「自動削除設定」が「削除する」に設定されている場合、約2時間分の録画領域を確保するために、録画できる時間が下表よりも少なくなることがあります。

例：500GB のハードディスクの場合

放送番組の種類	録画できる時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送番組（HD 最大17Mbps）だけを録画する場合	約62時間
BS/110度CSデジタルハイビジョン放送番組（HD 最大24Mbps）だけを録画する場合	約44時間
地上デジタルおよびBS/110度CSデジタルの標準テレビ放送番組（SD 最大8Mbps）だけを録画する場合	約131時間

- 放送番組の種類は、**[番組説明]**を押して番組説明画面に表示されるアイコンで確認することができます。
- ハードディスクの残量（録画設定画面に表示される「録画可能時間」および、録画リストのメニューの「ハードディスク残量表示」（49ページ））は、BS デジタルハイビジョン放送（約24Mbps）を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送（約17Mbps）の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

録画中の番組視聴について

USB ハードディスクでの録画中の番組視聴制限は下表のとおりです。

※ 録画中は、独立データ放送やラジオ放送は視聴できません。

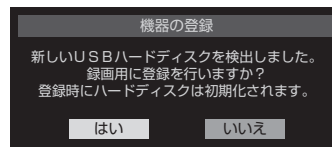
		視聴できる放送、入力				
		地デジ	BS	CS	外部入力 (HDMI1, 2, ビデオ入力)	録画番組再生
録画中の放送	地デジ	△	○	○	○	○
	BS	○	△	×	○	○
	CS	○	×	△	○	○

○：視聴できます △：録画中のチャンネルのみ視聴できます
×：視聴できません

USB ハードディスクを登録する

本機が未登録の USB ハードディスクを検出すると、「機器の登録」画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

- 1** ◀▶で「はい」を選び、**[決定]**を押す
登録しないときは「いいえ」を選びます。

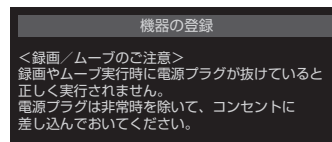


- 2** 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**[決定]**を押す
登録の処理が始まり、終了すると次の手順の画面が表示されます。

- 3** 登録名を変更するときは、◀▶で「はい」を選び、**[決定]**を押す
- ・登録された名称のままでよいときは、「いいえ」を選びます。
 - ・「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して**[決定]**を押します。
 - ・文字入力方法については28ページをご覧ください。

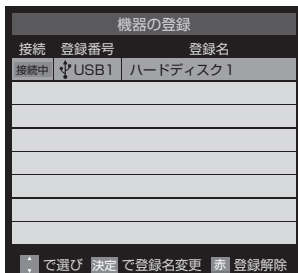
- 4** 画面の説明を読み、◀▶で「はい」または「いいえ」を選び、**[決定]**を押す
リモコンの**[録画]**や予約などで録画する機器の初期候補を、今登録した USB ハードディスクにするときは「はい」を選びます。
- ※ 録画先の機器は、録画や録画予約の際に変更することもできます。

- 5** 〈録画／ムーブのご注意〉の内容を読み**[決定]**を押す
録画中やムーブ中および録画予約が設定されているときは、本機や USB ハードディスクおよびハブなどの電源プラグを抜かないようにしてください。



USB ハードディスク録画・予約機能について（つづき）

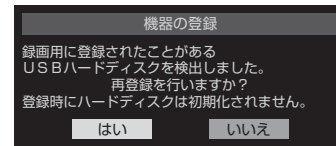
6 登録結果の内容を確認し、を押す



※ 手順 1 で「いいえ」を選択した場合、その USB ハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」の USB ハードディスクを登録するときは、メニューの「USB ハードディスク設定」で「機器の登録」の操作をしてください(56 ページ参照)。

使用履歴のある USB ハードディスクを接続したとき

- 本機に登録して使用し、登録を解除した USB ハードディスクを接続した場合、以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選び、を押すと登録の処理が始まり、終了すると「機器の登録」の画面が表示されます。
- ※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

△ご注意

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録（新しいハードディスク）として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

USB ハードディスクを取りはずす

機器の取りはずし

USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。

- 1 を押し、、とで「設定」⇒「外部機器設定」⇒「USB ハードディスク設定」⇒「機器の取りはずし」の順に進む

- 2 取りはずす機器を、で選び、を押す

- 3 確認画面で、、で「はい」を選び、を押す
停止の処理が始まり、終了すると安全に取りはずしができる旨のメッセージが表示されます。

- 4 メッセージを確認し、USB ハードディスクを取りはずしてからを押す

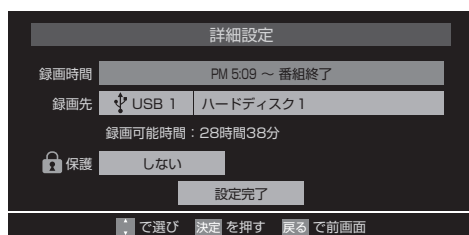
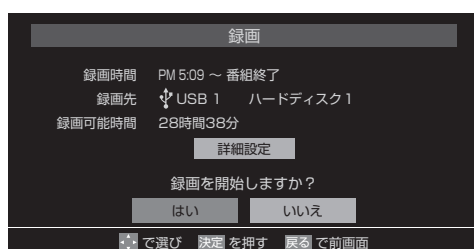
視聴中の番組を録画する

- 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。

※ USB ハードディスクですでに録画中の場合は、この操作はできません。

1 放送番組を見ているときに  を押す

2 録画設定を変更するときは、▲▼で「詳細設定」を選び、 を押す



録画時間を変更する場合

お買い上げ時の設定では視聴中の番組が終了するまで録画されます。終了時刻を指定するには以下の操作をします。

- ① ▲▼で「録画時間」を選び、 を押す
- ② ▲▼で「時間指定」を選び、◀▶で時・分それぞれの欄に移動し、▲▼で録画終了時刻を設定して を押す
- ③ ▲▼で「設定完了」を選び、 を押す

録画先の機器を変更する場合

- ① ▲▼で「録画先」を選び、 を押す
- ② ▲▼で録画機器を選び、 を押す
- ③ ▲▼で「設定完了」を選び、 を押す

その他の録画設定を変更する場合

「録画設定や連ドラ設定を変更する」41 ページをご覧ください。

3 ▲▼◀▶で「はい」を選び、 を押す

- ・ 録画が開始されます。
 - ・ 外出するときは、本機（テレビ）の電源を「待機」または「切」にします。（録画は継続されます）
- ※ この操作での録画中に、予約した番組の録画が始まる場合、この録画は中止されます。

録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USB ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

1 録画中に  または  を押す

2 「録画中止」画面で、◀▶で「はい」を選び、 を押す

番組表から録画・予約する

1

番組表を押す
番組表が表示されます。

2

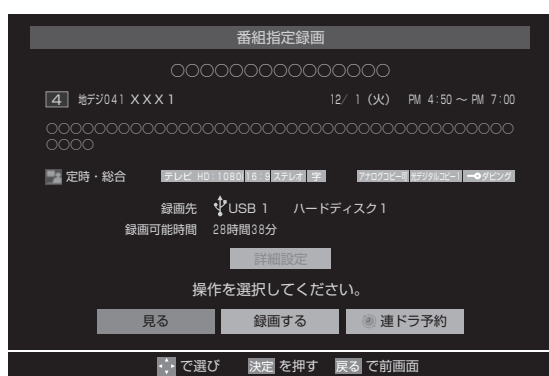
録画する番組を▲▼◀▶で選び、決定を押す

3

以下の操作で録画・予約をする

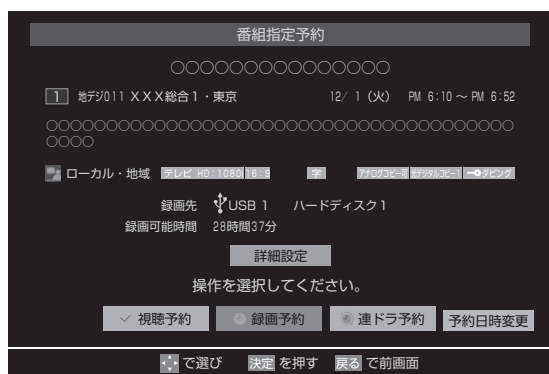
録画機器や設定を変更するときは、「録画設定や連ドラ設定を変更する」41 ページの操作をします。

現在放送中の番組を選んだ場合



- ▲▼◀▶で「録画する」を選び、決定を押す
・ 録画が開始されます。

これから放送される番組を選んだ場合



- ▲▼◀▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、決定を押す
 - 視聴予約
指定した番組の視聴を予約します。
 - 録画予約
指定した番組の録画を予約します。
 - 連ドラ予約
1回の予約で、同じ番組を毎回録画します(38ページ)。
- 「予約を設定しました。」が表示されたら決定を押す

予約する日時を変更する場合

日時指定予約設定メニューへ移動します。

- ▲▼◀▶で「予約日時変更」を選び、決定を押す
- メッセージが表示されたら、◀▶で「はい」を選び、決定を押す
- 「条件を指定して予約する」40ページの手順3以降の操作をする

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

- ◀▶で「はい」を選び、決定を押す
・ 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
- 重複している予約(予約済の番組)を取り消すときは、◀▶で「はい」を選び、決定を押す

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

- ◀▶で「はい」を選び、決定を押す
・ 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
- 予約を取り消す番組を▲▼で選び、決定を押す
- ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」が表示された場合

- ◀▶で「はい」を選び、決定を押す
 - ダウンロード予約が取り消されます。
 - 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
 - ダウンロードについては、59ページをご覧ください。

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」に切り換えます（23 ページ参照）。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。

同じ番組の場合は、どの番組を選択しても予約できます

NHK総合・東京		NHKEテレ東京			
1	011	2	021	2	022
国おひるまえスペシャル!▽ペットの飼...		国高校講座 1年生 ...	国高校講座 1年生 ...	国高校講座 1年	
		国高校講座 2年生 ...	国高校講座 2年生 ...	国高校講座	
国屋のニュース団		国ハッスン英語 初級 ...	国邦楽をたのしむ ...	国アニメ びっく	
国ひるどきネットワ...		国経済 現状を解析 する...	国経済 現状を解析 する...	国経済 現状を解	
国タタ兄ちゃん 団団		国国芸を楽しむ 冬の...	国国芸を楽しむ 冬の...	国国芸を楽しむ	
国ごんにちわスタジ		国国芸を楽しむ 冬の...	国国芸を楽しむ 冬の...	国国芸を楽しむ	

選択したチャンネルに録画
予約アイコンがつきます

こちらにはミニアイ
コンがつきます

マルチチャンネル放送時
の別番組は、「マルチ表示」
にすれば予約できます

お知らせ

- ・ 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- ・ 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- ・ 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。
- ・ 視聴予約をした番組に切り換わるのは、本機の電源が「入」のときだけです。
- ・ 予約の確認や取り消しについては 42 ページを、予約の優先順位については 43 ページをご覧ください。

連続ドラマを予約する

連続ドラマなどのシリーズ番組や連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

番組表で連ドラ予約をする場合

- 1 **番組表** を押す
番組表が表示されます。
- 2 連ドラ予約をする番組を **▲▼◀▶** で選び、**決定** を押す
- 3 番組の録画先を USB ハードディスクに設定する
「録画設定や連ドラ設定を変更する」41 ページの操作で、「録画先」を設定します。
- 4 **▲▼◀▶** で「連ドラ予約」を選び、**決定** を押す
- 5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する
番組名（連ドラ）や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために
「録画設定や連ドラ設定を変更する」41 ページの操作で「詳細設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。
- 6 **▲▼◀▶** で「はい」を選び、**決定** を押す
- 7 「予約を設定しました。」が表示されたら **決定** を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

- 1 **メニュー** を押し、**▲▼** で「連ドラ予約」を選び、**決定** を押す
- 2 左記手順 5 ～ 7 の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）をもとに、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
※ 追跡基準（開始時刻）の前後約 2 時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

■お知らせ

- ・電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- ・連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- ・**映**などの囲い文字は **[映]** などと表示されます。また、漢字の旧字などの特殊な文字は表示されない場合があります。
- ・予約の確認や取り消しについては 42 ページを、予約の優先順位については 43 ページをご覧ください。

番組を検索して録画・予約する

1 を押す

番組表が表示されます。

2 (番組検索) を押す

番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀▶で選び、検索条件を指定する

操作方法は「条件を指定して番組を探す」26ページの
手順 4 と同じです。

4 ▲▼で「検索開始」を選び、を押す

5 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲▼で 選び、を押す

番組説明を見るにはを押す前に (番組説明)
を押します。

6 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表から録画・予約する」36 ページの手順 3 と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

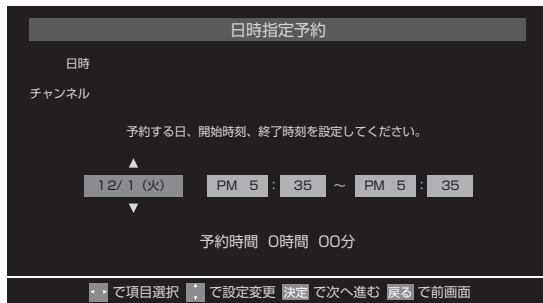
条件を指定して予約する

1 ② を押し、▲▼と①で「その他の操作」⇒「予約リスト」の順に進む

- ・ 予約リストが表示されます。
- ・ 予約リストは、番組表の表示中に① (予約リスト) を押して表示することもできます。

2 ① (新規予約) を押す 「日時指定予約」画面が表示されます。

3 録画予約の日時を設定する



① 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で日時を設定する

- ・ 6週間先まで指定できます。
- ・ 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- ・ 設定できる予約時間は最大23時間59分です。

② 設定が終わったら①を押す

4 録画するチャンネルを設定する

① 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選ぶ

- ・ 放送の種類..... 地デジ／BS／CS
- ・ 放送メディア..... テレビ／ラジオ (BS、110度CSのみ)／データ
- ・ チャンネル..... 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

② 設定が終わったら①を押す

5 「詳細設定」を変更するときは、次ページの手順で操作をする

6 ▲▼◀▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、①を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら①を押す

メッセージなどが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」、「予約数がいっぱいです。」、「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」のメッセージ表示された場合の操作については、36ページをご覧ください。

■お知らせ

- ・ 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- ・ 予約の確認や取り消しについては42ページを、予約の優先順位については43ページをご覧ください。

録画設定や連ドラ設定を変更する

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「詳細設定」を▲▼で選び、(決定)を押す

2 設定する項目を▲▼◀▶で選び、(決定)を押す
※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

3 ▲▼で内容を選び、(決定)を押す

4 ▲▼◀▶で「設定完了」を選び、(決定)を押す

項 目	内 容
録画時間	・ 視聴中の番組の録画時間を指定します。
録画先	・ 録画をする機器を選びます。
保護	・ 録画する番組を保護する（消さないようにする）かどうかを設定します。 録画後に設定することもできます。（47ページ）
放送時間	・ 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大 3 時間までの遅れに連動して録画をする機能です。（放送時間の繰上げには対応できません） ・ ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順については43ページをご覧ください。
連ドラ	・ 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます。（再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します） ・ 文字入力のしかたは28ページをご覧ください。 ・ 連ドラの名称（連ドラグループ名）はあとで変更することはできません。
追跡キーワード	・ 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます。（1 回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます）
追跡基準	・ 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。
上書き録画	・ 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。 上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。

予約を確認・変更する

予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定を変更することができます。

予約の確認・変更・取り消し

1  を押し、▲▼と で「その他の操作」⇒「予約リスト」の順に進む

- ・ 予約リストが表示されます。
- ・ 予約リストは番組表の表示中に (予約リスト) を押して表示させることもできます。

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲▼で選び、 を押す

選んだ予約番組の「予約内容確認／取り消し」画面が表示されます。

予約リスト			
予約番組			録画先
XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXX	 地デジ051 12/1 (火) PM 7:00-PM 8:54		USB 1
XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXX	 地デジ021 12/1 (火) PM 9:00-PM 9:25		--
XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXX	 地デジ041 月～木 PM11:10-PM11:59		USB 1
XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXX	 BS 103 12/3 (木) AM 9:00-AM10:45		USB 1
XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXX	 BS 141 月～金 PM 0:00-PM 0:55		USB 1

 で選び  で予約内容確認  で新規予約  で番組説明

録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。

- ・ 番組説明を見るには を押す前に (番組説明) を押します。
- ・ 予約の重複がある場合は、その中からどれか予約を取り消す番組を選択します。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

- ① ◀▶で「はい」を選び、 を押す

録画設定を変更するとき

前ページの「録画設定や連ドラ設定を変更する」の操作をします。

連ドラ予約番組の確認・変更・取り消し

1 左記の手順 1 の操作をする

2 連ドラ予約を確認する番組を予約リストから▲▼で選び、 を押す

選んだ予約番組の「予約内容確認／取り消し」画面が表示されます。

※ 8 日以上先の番組は表示されません。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

- ① ◀▶で「はい」を選び、 を押す

「連ドラ設定」を変更するとき

- ① ◀▶で「詳細設定」を選び、 を押す
- ② ▲▼で設定を変更する項目を選び、 を押す
- ・ 設定画面に表示されている項目の内容については、前ページの「録画設定や連ドラ設定を変更する」の表を参照してください。
- ③ ▲▼◀▶で「設定完了」を選び、 を押す

予約・録画時の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先されて、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。

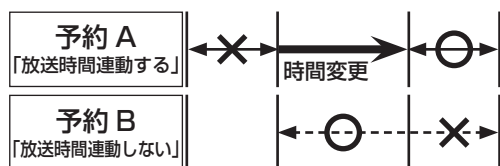
優先順 1 位	優先順 2 位	優先順 3 位
録画予約	・「番組指定録画」からの録画 ・  での録画	視聴予約

放送時間に変更されたとき

予約した番組の放送時間に変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。
例)「放送時間」を「連動する」に設定していた予約 A が時間変更に対応したため、予約 A と重なった部分の予約 B は録画されません。

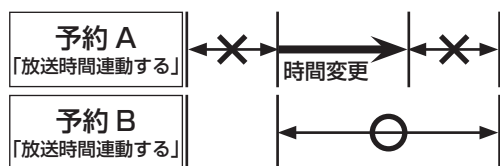


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

① 開始時刻が変更された場合

開始時刻の早い予約が優先されます。

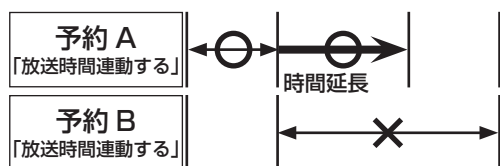
例) 予約 A の変更後の開始時刻よりも、予約 B の開始時刻が早くなるので、予約 A は取り消されます。



② 放送時間が延長された場合

先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例) 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約 A が優先されます。開始時刻の遅い予約 B は取り消されます。



③ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

最初に予約設定した番組が優先され、2 番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

予約の動作について

予約設定後、本機の動作は以下ようになります。

予約した番組放送が始まるとき
- 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止するときは、または^{終了}を押します。 - 視聴予約の場合は、電源が「入」のときのみ、予約した番組のチャンネルに切り換わります。 - 録画予約の場合は、電源が「待機」または「切」のとき、本体前面の電源ランプは、紫色に点灯します。 - 視聴制限のある予約番組が始まるときは、メッセージが表示されます。を押し、暗証番号を入力してください。

予約した番組の放送中
- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「録画実行中のため、この操作はできません。」または「録画中は視聴できるチャンネルに制限があります。」と表示されます。 - 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画が中止されます。

予約した番組の終了後
- 本機を通常どおり使用できます。 - 録画予約した番組の録画が終了した場合は、本体前面の電源ランプは電源が「待機」の場合、赤色に点灯し電源が「切」の場合は消灯します。

録画した番組を再生する

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

USB ハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

1 録画リストを押す

- 録画リストが表示されます。
- USB ハードディスクが複数接続されている場合、他の USB ハードディスクの録画リストを表示させるには、「ほかの機器を選択する」50 ページの操作をします。

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 10秒戻し30秒送り で分類タブを切り換える
 - すべて すべての録画番組が表示されます。
 - 未視聴 未再生の録画番組が表示されます。
 - 曜日別 録画した曜日ごとに表示されます。
 - ジャンル別 ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
 - 連ドラ別 「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- ◀▶ でグルーパタブを切り換える
 - 分類が「すべて」と「未視聴」の場合はグルーパタブはありません。

3 見たい番組を▲▼で選び、決定を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます（レジューム再生）。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になります。
- 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

4 番組再生を終了するには、終了または停止を押す

放送画面に戻ります。

番組の冒頭から再生する—頭出し再生

1 再生する番組を選び、頭出し再生を押す

録画中の番組を再生する—追っかけ再生

録画が終了するまで待たずに再生することができます。

1 録画中の番組を選び、決定を押す

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

1 検索を押し、▲▼で「サーチ」を選び、決定を押す

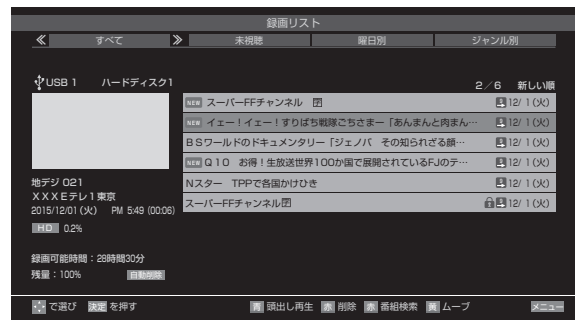
画面右上にサーチ _ _ _ _ が表示されます。

2 ①～⑩で時間を指定する

例: 冒頭から2時間30分5秒後の位置を指定するとき

⑩ ② ③ ⑩ ⑩ ⑤ の順に押します。

録画リスト (例)



お知らせ

- 番組冒頭部分の2秒間を飛ばして再生が始まります。(録画は番組開始時刻の2秒前から開始されるようになっています)
- 放送番組の視聴中に再生を押すと、USB ハードディスクで最後に視聴した録画番組が再生されます。

録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は1000番組までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。
- コピー制御アイコンは番組の情報として表示されます。本機は録画番組のムーブにのみ対応しています。

録画した番組を再生する

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内 容
 再生	録画番組の再生を開始します。 ・再生中に繰り返し押すと、1.5 倍の速さの音声付早送り再生と通常の再生が交互に切り換わります。
 一時停止	再生中に押すと一時停止になります。 ・一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
 停止	再生を終了し、放送画面に戻ります。
 早送り	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
 早戻し	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
 30秒送り	再生中または 1.5 倍速再生中に押すと、30 秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ)
 10秒戻し	再生中または 1.5 倍速再生中に押すと、10 秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ)
 録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。 ・放送番組視聴時に押した場合も録画リストが表示されます。

- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「録画再生設定」で変更することができます。
- 録画中の番組再生での早送り／早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

1 再生中に を押す

- ・再生中の番組の情報が表示されます。
- ・しばらくすると番組情報の表示は消えます。



2 表示を消すには、もう一度 を押す

番組説明を見る

1 録画リスト表示中または番組の再生中に を押す

番組説明画面が表示されます。

2 番組説明画面を消すには を押す

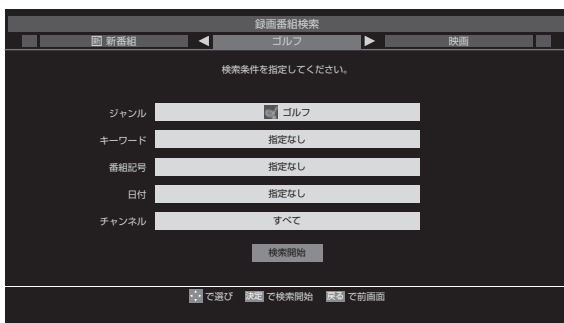
しばらくすると、番組説明の表示は消えます。

見たい録画番組を探す

- USB ハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探すことができます。
 - ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
 - 録画番組のグループ（タブ）ごとに検索条件を設定できます。
- ※ USB ハードディスクでの録画中は検索できません。

1 録画リストの表示中に （番組検索）を押す
録画番組検索画面が表示されます。

2 検索するグループのタブを ◀▶ で選ぶ

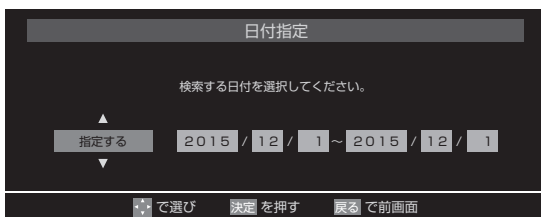


3 検索条件を指定する

「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、「条件を指定して番組を探す」26ページの手順4と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

① ▲▼で「日付」を選び、を押す



② ◀▶で左端の欄に移動し、▲▼で「指定する」を選ぶ

③ ◀▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲▼で選ぶ

④ 指定が終ったら を押す

「チャンネル」を指定するとき

① ▲▼で「チャンネル」を選び、を押す

② 指定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選ぶ

- ・ 放送の種類 すべて / BS / CS / 地デジ
- ・ チャンネル すべて / 指定した放送の種類に該当するチャンネル

③ 指定が終ったら を押す

4 ▲▼◀▶で「検索開始」を選び、を押す

- ・ 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- ・ 検索が終了と、検索結果画面が表示されます。

5 見たい録画番組を▲▼で選び、を押す

- ・ 番組説明を見るには を押す前に （番組説明）を押します。
- ・ 選んだ番組の再生が始まります。

録画番組を消去・保護する

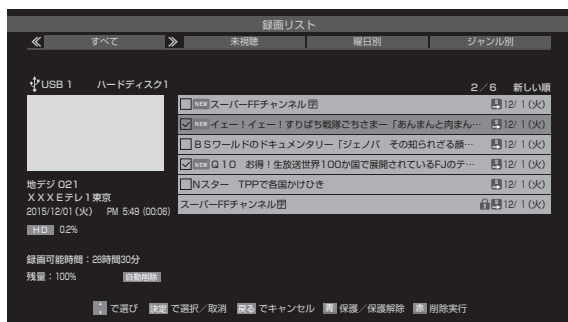
見終わった録画番組を消したり、消さないように保護したりするときは、録画リストの表示中に以下の操作をします。

一つの録画番組を消す

- 1 消す番組を▲▼で選び、○_赤（削除）を押す
保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除（右下の説明を参照）してから○_赤を押します。
- 2 ▲▼で「1 件削除」を選び、○_{決定}を押す
- 3 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、○_{決定}を押す
- 4 削除が終了したら○_{決定}を押す

複数の録画番組を消す

- 1 消す番組のどれかを▲▼で選び、○_赤（削除）を押す
- 2 ▲▼で「複数削除」を選び、○_{決定}を押す
- 3 消す番組を▲▼で選び、○_{決定}を押す
 - ・ ○_{決定}を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。削除する番組に✓をつけます。
 - ・ 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、○_青を押して保護を解除してから○_{決定}を押します。



- 4 選択が終わったら、○_赤（削除実行）を押す
- 5 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、○_{決定}を押す
- 6 削除が終了したら○_{決定}を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

- 1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる
「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」44ページの手順2参照。
- 2 ○_赤（削除）を押し、▲▼で「グループ内全削除」を選び、○_{決定}を押す
- 3 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、○_{決定}を押す
- 4 削除が終了したら○_{決定}を押す

自動的に消す（自動削除設定）

お買い上げ時は、ハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにするときは「削除しない」に設定してください。

- 1 ○_{メニュー}を押し、▲▼で「自動削除設定」を選び、○_{決定}を押す
- 2 ▲▼で「削除する」または「削除しない」を選び、○_{決定}を押す

誤って消さないように保護する

自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※ USB ハードディスクでの録画中は、この操作はできません。

- 1 保護する番組を▲▼で選び、○_{メニュー}を押す
- 2 ▲▼で「保護」を選び、○_{決定}を押す
 - ・ 選択した番組が保護されます。（🔒がつきます）
 - ・ 保護されている番組を選択してメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

録画番組を他の USB ハードディスクへ移動する

複数の USB ハードディスクを本機に接続している場合、録画した番組を他の USB ハードディスクにムーブ（移動）することができます。

- ※ USB ハードディスクでの録画中は、この操作はできません。
- ※ ムーブ中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

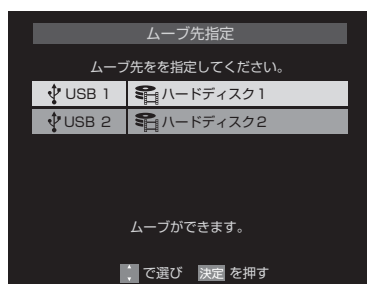
1 録画リストを表示させる(44 ページの手順 1～2)

2 ムーブする番組を▲▼で選び、（ムーブ）を押す

3 ▲▼で「1 件ムーブ」または「複数ムーブ」を選び、を押す

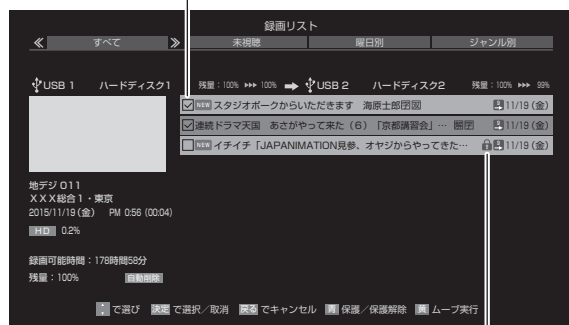
4 ムーブ先を▲▼で選び、を押す

ムーブ先に指定できる機器が 1 台の場合、この手順はありません。



5 「複数ムーブ」の場合は以下の操作をする

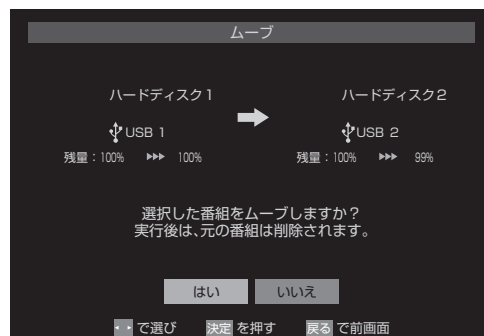
- ① ムーブする番組を▲▼で選び、を押す
 - 保護された番組をムーブするときは、を押して保護を解除してからを押します。
 - を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わり、✓を付けた番組がムーブされます。
 - ✓を付けた番組がムーブされます



はで解除してから

- ② ムーブする番組をすべて選んだら、（ムーブ実行）を押す
 - 一度にムーブできるのは 16 番組までです。

6 「ムーブ」画面で、◀▶で「はい」を選び、を押す



- ・ ムーブ中に電源を「待機」にすると、本体前面の電源ランプが紫色に点灯します。
- ・ ムーブが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。

録画リストの便利な機能を使う

録画リストを表示中に、メニューでさまざまな機能の操作ができます。

繰返し再生の設定を変える

録画番組の繰返し再生（リピート再生）を設定することができます。

1 を押し、**▲▼**で「再生設定」を選び、を押す

2 **▲▼**で以下から選び、を押す

- ・ 1 コンテンツリピート 選択した一つの番組を繰り返して再生します。
- ・ リピート すべての番組の連続再生を繰り返します。
- ・ オフ 繰返し再生をしません。

- リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます。（1 コンテンツリピート：、リピート：）
- 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

- 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。
- 設定は機器ごとに記憶されます。

1 を押し、**▲▼**で「並べ替え」を選び、を押す

2 **▲▼**で以下から選び、を押す

- ・ 新しい順 日付の新しい順に表示されます。
- ・ 古い順 日付の古い順に表示されます。

USB ハードディスクの残量を確認する

USB ハードディスクの残量を画面で確認できます。

- ※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。
- ※ USB ハードディスクの残量は、BS デジタルハイビジョン放送（約 24Mbps）を基準に算出しています。そのため、地上デジタルハイビジョン放送（約 17Mbps）の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 を押し、**▲▼**で「ハードディスク残量表示」を選び、を押す
残量表示画面が表示されます。

2 残量表示画面を消すにはを押す

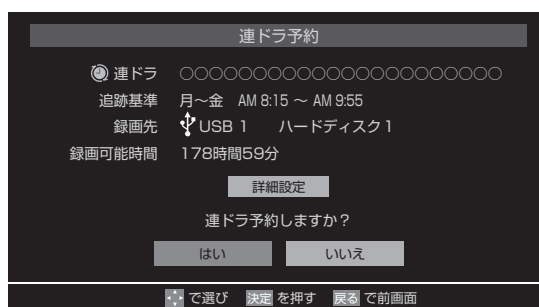
連ドラ予約をする

録画リストに表示されている番組を選び、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を**▲▼**で選び、を押す

2 **▲▼**で「連ドラ予約」を選び、を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、**◀▶**で「はい」を選び、を押す
番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。



設定を確認・変更するとき

- ① **▲▼**で「詳細設定」を選び、を押す
- ② 設定を変更する項目を**▲▼**で選び、を押す
 - ・ 「録画設定や連ドラ設定を変更する」41 ページの表を参照してください。
 - ・ 追跡キーワードを確認し、必要に応じて編集します。
- ③ **▲▼◀▶**で「設定完了」を選び、を押す

録画リストの便利な機能を使う（つづき）

ほかの機器を選択する

再生する機器を変更するには以下の操作をします。

- 1  を押し、▲▼で「機器選択」を選び、 を押す

機器選択画面が表示されます。

※ 機器が 1 台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

- 2 使用する機器を▲▼◀▶で選び、 を押す

便利な機能を使う

ブルーライトガード機能を使う

1 を押す

解除するときは  をもう一度押します。

- ※ リモコンの  ボタンを押すと、ブルーライトガード機能の「オン」「オフ」を切り換えることができます。
- ※ 電源を切ってもブルーライトガード機能の「オン」「オフ」設定は維持されます。

お知らせ

- ・「ブルーライト」とは、可視光（目に見える光）のうち、波長が短い（380nm～495nm [nm：ナノメートル]）青色の光のことです。
- ・ブルーライトガード機能は、テレビ画面から発する光のうち、この「ブルーライト」を抑える機能です。

⚠️ ご注意

- ・ブルーライトガード機能を「オン」にすると、青色成分が抑えられるため、映像の色調が変わります。
- ・各種メニューの操作中や録画・録画予約の設定中に、ブルーライトガード機能の「オン」「オフ」を切り換えると、メニューや録画設定の表示が終了したり、前の画面に戻ることがあります。

視聴中のテレビ放送の映像を一時静止させる

1 または を押す

解除するときは  または  をもう一度押します。

- ※ 一時静止中も映像は進んでいきます。解除した場合、その間の映像はスキップされます。
- ※ チャンネルや入力を切り換えると、一時静止は解除されます。
- ※ 一時静止中は、機能の一部（画面サイズの設定など）が使用できなくなります。
- ※ 音声や字幕の停止はできません。

⚠️ ご注意

- ・一時静止は自動で解除されません。長時間同じ画面を表示していると、画面の焼き付きなどを起こす場合があります。

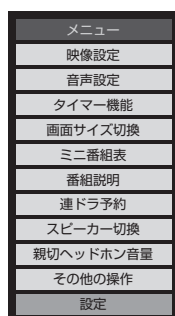
メニュー画面の操作方法

本機の各種設定を変更することができます。設定できる項目と詳細については、次ページ以降を参照してください。(以下の手順は、「高音強調」を設定する場合の例です)

1

② ボタンを押す

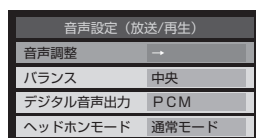
メニュー画面が表示されます。



2

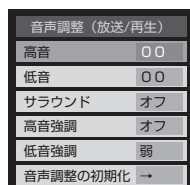
▲▼で「音声設定」を選び、③を押す

音声設定（放送 / 再生）メニューが表示されます。



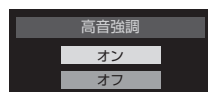
3

▲▼で「音声調整」を選び、③を押す



4

▲▼で「高音強調」を選び、③を押す



5

▲▼で好みの設定を選び、③を押す

手順3の「音声調整（放送 / 再生）」メニューに戻ります。

6

④を押す

お知らせ

- 一定時間メニューを表示したままにすると、自動的にメニュー表示が消えます。
- ⑤を押すと、ひとつ前のメニュー表示に戻ります。
- 項目によって◀▶で数値を変化させるものがあります。



メニュー項目の詳細

映像設定		
映像モード	本機には、シーンに合わせた映像設定があらかじめ用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。	
	あざやか	日中の明るいリビングで迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
	標準	落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です。
	ライブ	暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
	映画	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。
	ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。 (外部入力 (HDMI1、2、ビデオ入力) のときに選択できます)
	PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です。(HDMI 入力のときに選択できます)
映像調整	映像調整を選択することにより、お好みに合わせた画質に調整することができます。映像を調整すると、映像モードの表示に「：メモリー」が表示され、調整した状態は放送や各入力端子ごとに記憶されます。	
	バックライト	バックライトの明るさをお好みに合わせて調整できます。
	コントラスト	設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
	黒レベル	設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
	色の濃さ	設定値が低いほど色が薄く、設定値が高いほど色が濃くなります。
	色あい	画面の色あいを紫っぽくしたり、緑っぽくしたりします。
	シャープネス	設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
	詳細調整	カラーイメージコントロール
		映像の色調をお好みに調整することができます。(60 ページ参照)
		ノイズリダクション
		映像のノイズを軽減することができます。 ・ MPEG NR.....動きの速い映像のブロックノイズ (モザイク状ノイズ) と、モスキートノイズ (輪郭周辺に現れるノイズ) を軽減します。 ・ ダイナミック NR映像のちらつきやざらつきを軽減します。
		ダイナミックバックライト制御
		映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。
		シネマスキャン
		映画ソフト (フィルム映像) のもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。 ※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。 ※ 映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。
		色温度
		視聴する映像の色味をお好みに合わせて調整できます。設定値が大きいほど青味が強調された色あいになり、設定値が小さいほど赤味が強調された色あいになります。 (決定)を押して「G (緑) ドライブ」、「B (青) ドライブ」の調整を行うと、明るい部分の色温度を微調整できます。設定値が大きいほどそれぞれの色味が強調されます。
		ダイナミックガンマ
		映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。
		ガンマ調整
		映像の暗い部分と明るい部分の階調バランスを調整します。
		2D アパチャー
		映像の横線の輪郭を強調したり弱めたりします。
	映像調整の初期化	映像調整をお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー項目の詳細（つづき）

音声設定		
音声調整	音声調整を選択することにより、お好みに合わせた音質に調整することができます。	
	高音	設定値が大きいほど高音を強調し、設定値が小さいほど高音を弱めます。
	低音	設定値が大きいほど低音を強調し、設定値が小さいほど低音を弱めます。
	サラウンド	「オン」「オフ」で切り換えます。
	高音強調	「オン」「オフ」で切り換えます。
	低音強調	「強」「弱」「オフ」で切り換えます。
	音声調整の初期化	音声調整をお買い上げ時の状態に戻します。
バランス	左右の音声出力のバランスを調整します。	
デジタル音声出力	デジタル音声出力端子から出力する音声形式を設定します。	
	PCM	PCM のみ対応のデジタルアンプなどを接続している場合に選択します。デジタル放送の音声信号も PCM に変換して出力します。
	デジタルスルー	AAC のサラウンド音声（5.1ch や 4.1ch サラウンド音声など）に対応したデジタルアンプなどを接続している場合に選択します。デジタル放送の音声信号がそのまま出力されます。
	サラウンド優先	AAC のサラウンド音声（5.1ch や 4.1ch サラウンド音声など）に対応したデジタルアンプなどを接続している場合に選択します。コンテンツの音声信号が、AAC のサラウンド音声の場合にそれらの信号が出力されます。それ以外の場合は PCM 信号が出力されます。
ヘッドホンモード	ヘッドホンを接続したときに本機からも音声を出力するかどうかを設定します。 お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。 ・ 通常モードヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーからの音声が消え、ヘッドホンから音声が出力されます ・ 親切モードヘッドホンとスピーカーの両方から音声が出力されます	
タイマー機能		
オンタイマー、オフタイマーを設定することができます。（62、63 ページ参照）		
画面サイズ切換		
視聴する番組に適した画面サイズを選ぶことができます。（31 ページ参照）		
ミニ番組表		
番組を見ながら、画面にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。（22 ページ参照）		
番組説明		
視聴中の番組詳細を表示します。		
連ドラ予約		
視聴中の連続ドラマなどが毎回録画されるように予約することができます。（38 ページ参照）		
スピーカー切換		
本機とオーディオ機器のどちらのスピーカーで音声を聴くか切り換えることができます。		
親切ヘッドホン音量		
「音声設定」の「ヘッドホンモード」で「親切モード」に設定して、ヘッドホンを接続しているとき、◀▶でヘッドホンの音量を調整することができます。		
その他の操作		
予約リスト	予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。（42 ページ参照）	
信号切換	映像信号切換	複数の映像がある番組を視聴しているときは、お好みで選択することができます。
	音声信号切換	複数の音声がある番組を視聴しているときは、音声 1、音声 2 などの音声信号を切り換えることができます。
	音多切換	音声多重放送の番組を視聴しているときは、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
	データ信号切換	複数のデータがある番組を視聴しているときは、お好みで選択することができます。
	字幕切換	字幕のついた番組を視聴しているときは、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。
	降雨対応放送切換	BS・110 度 CS デジタル放送を視聴中、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が降雨対応放送を運用していれば、切り換えて見るすることができます。

その他の操作			
チャンネル番号入力	数字ボタン（ 1 ～ 10 ）で3ケタのチャンネル番号を入力して選局します。		
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認することができます。		
データ放送終了	連動データ放送の視聴を終了します。		
テレビ／ラジオ／データ切換	テレビ、ラジオ、独立データ放送、それぞれのサービスに切り換えることができます。		
お知らせ	未読のお知らせがあると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに「お知らせマーク」  が画面に表示されます。		
	放送局からのお知らせ	デジタル放送局からのお知らせです。	
	本機に関するお知らせ	ソフトウェアの更新についてなど、本機からのお知らせです。	
	ボード	110度CS デジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。	
ソフトウェアバージョン	現在の「ソフトウェアバージョン」を表示します。		
設定 ^{*1}			
機能設定	省エネ設定	節電モード	画面の明るさを抑えて節電します。
		番組情報取得設定	電源待機時にデジタル放送の番組情報を、自動的に取得するかしないかを選択します。
		無操作自動電源オフ	テレビの無操作状態が約 3 時間続いた場合に、電源を切り待機状態にするかしないかを選択します。
		オンエアー無信号オフ	放送受信時、無信号状態が約 15 分間続いた場合に、電源を切り待機状態にするかしないかを選択します。
		外部入力無信号オフ	外部入力選択時に、無信号状態が約 15 分間続いた場合に、電源を切り待機状態にするかしないかを選択します。
	視聴制限設定	放送視聴制限設定	デジタル放送では、番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。推奨視聴年齢がある番組を制限するには、暗証番号の設定が必要になります。 ※暗証番号を忘れてしまうと、視聴制限設定を変更することができなくなります。暗証番号をリセットする場合は、修理対応になりますのでご注意ください。
		暗証番号設定	視聴年齢制限の設定をするために、暗証番号を設定します。
		暗証番号削除	設定した暗証番号を削除します。
	外部入力設定	外部入力表示設定	入力切換時、表示される機器の名称（ブルーレイ、DVD など）を変更することができます。
		外部入力スキップ設定	入力切換時、使用していない入力をスキップする（飛び越す）ことができます。
		RGB レンジ設定	HDMI 入力端子に接続された機器からの映像に関する設定です。通常は「オート」の設定のままでご使用ください。 本機が RGB レンジを識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。 ・ オート 自動切換になります ・ フルレンジ RGB レンジが 0 ～ 255 の機器を接続している場合に選びます ・ リミテッドレンジ RGB レンジが 16 ～ 235 の機器を接続している場合に選びます
		ビデオ音声入力設定	HDMI2/DVI 入力端子に DVI 出力機器などを接続して、音声を本機から出力したいときに、映像入力は HDMI2/DVI 入力端子を使用し、音声入力はビデオ入力端子を使用するように設定できます。 ・ ビデオ音声 ビデオ入力の音声入力端子として使用するときは、この設定にします ・ HDMI2 アナログ音声 HDMI2/DVI 入力端子に接続した機器の音声を、ビデオ入力端子からアナログで入力するときは、この設定にします

メニュー項目の詳細（つづき）

設定 *1			
機能設定	画面調整	上下振幅調整	映像の縦サイズを調整します。
		上下画面位置	映像の上下の表示位置を調整します。
		左右振幅調整	映像の横サイズを調整します。
		画面調整の初期化	画面調整をお買い上げ時の状態に戻します。
外部機器設定	USB ハードディスク設定	機器の登録	リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。 ※ 登録できるのは 8 台までです。
		省エネ設定	「オン」に設定すると、録画・再生をしていないときに消費電力を低減させます。 複数の USB ハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。 ※「オン」に設定した場合、USB ハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「-- 時間 -- 分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。 ※ USB ハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
		機器の取りはずし	USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする前に、この操作をします。
		動作テスト	USB ハードディスクで以下の動作ができるかテストします。 ・ 録画 ハイビジョン画質で録画できるか ・ 録画中の再生 ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか ・ 録画中の早見早聞 録画中に早見早聞ができるか ※ テスト結果は目安です。結果通りの動作にならないことがあります。
		録画番組の修復	録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。
		機器の初期化	正常に使用できなくなった USB ハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになる場合があります。 ※ 初期化をすると、USB ハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。
	録画再生設定	録画基本設定	複数の USB ハードディスクを本機に接続している場合に、録画先にする機器の初期候補を設定します。
		ワンタッチスキップ設定	録画番組の再生中に  を押したとき、飛ばす時間を変更することができます。  を押すと、見たくないシーンなどを少し飛ばして見るすることができます。 お買い上げ時の設定では、30 秒後のシーンに飛ばすようになっています。(リモコンには、お買い上げ時の動作「30 秒送り」が表示されています)
		ワンタッチリプレイ設定	録画番組の再生中に  を押したとき、戻す時間を変更することができます。  を押すと、見逃したシーンなどを少し戻って見るすることができます。 お買い上げ時の設定では、10 秒前のシーンに戻るようになっています。(リモコンには、お買い上げ時の動作「10 秒戻し」が表示されています) お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておくと、飛ばしすぎて戻すときに便利です。

設定			
外部機器設定	HDMI 連動設定 *2	HDMI 連動機能	本機のリモコンで HDMI 連動機器操作、レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。
		HDMI 連動機器リスト	HDMI 連動機能に対応した機器のリストが表示されます。 ○を押すと、HDMI の接続を再検出します。
		リモコン動作モード	リモコン動作モードに対応したレコーダーを接続している場合、「連動機能優先」に設定すると、本機のリモコンでレコーダーを操作できる機能が増えます。
		連動機器→テレビ入力切替	HDMI 連動機器の電源を入れたり、再生操作をしたりしたときに、本機が自動的に入力切替をして、その機器を選択する機能です。(本機の電源が「入」の場合)
		連動機器→テレビ電源	HDMI 連動機器の電源を入れたり、再生操作をしたりしたときに、自動的に本機の電源が入る機能です。 ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切替」を「連動する」に設定しておくと、本機の電源が入ったあとに自動的に入力が切り換わります。
		テレビ→連動機器電源オフ	本機の電源を切ったときに、自動的に HDMI 連動機器の電源が切れます。(録画中の機器など、動作状態によっては電源が切れない場合があります) ※ 本機の「省エネ設定」のオフ機能や、「オフタイマー」とも連動します。
		PC 映像連動	本機に接続した HDMI 連動機能対応のパソコンからの映像を見る場合に、パソコンの画面の形式や映像に応じて、本機が自動的に画面サイズや映像モードの設定を切り換える機能です。
		AV システム連動	「使用する」に設定すると、HDMI 連動機能対応のオーディオ機器とそのスピーカーを接続している場合、本機のリモコンで以下のことができます。 ・ 音声をテレビから出すか、オーディオ機器のスピーカーから出すかの切り換え ・ オーディオ機器の音量調節や消音
		AV システム音声連動	HDMI 連動機能対応のオーディオ機器との音声連携機能を使うかどうかを設定します。 オーディオ機器が本機と音声連携可能な機種であり、かつオーディオ機器から音声が出る状態になっているときに設定できます。
		優先スピーカー	「AV システム連動」を「使用する」に設定した場合に、優先するスピーカーを選択します。 ・ テレビスピーカー 本機のスピーカーから音声が出ます ・ AV システムスピーカー オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます
		AV システム音声入力設定	オーディオ機器の音声入力を指定することができます。 例) HDMI 連動機能対応のオーディオ機器の入力 1 と入力 2 にそれぞれ HDMI 連動機器を HDMI 接続し、オーディオ機器を本機の HDMI 1 に接続して視聴する場合、指定したオーディオの音声入力に接続した HDMI 連動機器の音声はオーディオ機器のスピーカーから出力されます。(接続例は 65 ページ参照)
初期設定	はじめての設定	引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「はじめての設定」を行ってください。(17 ページ参照)	
	アンテナ設定	地上デジタルアンテナレベル	地上デジタル放送のチャンネルごとのアンテナレベルを確認できます。
		BS・110 度 CS アンテナレベル	BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネルごとのアンテナレベルを確認できます。
		BS・110 度 CS アンテナ電源供給	BS・110 度 CS 用アンテナは電源を必要とします。 お買い上げ時は「供給する」に設定されています。マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは「供給しない」に設定します。

メニュー項目の詳細（つづき）

設定 *1			
初期設定	チャンネル設定	地上デジタル自動設定	引越しなどした場合は、このメニューからチャンネルを設定してください。状況に応じて「初期スキャン」または「再スキャン」を選び、決定を押します。 「初期スキャン」を選ぶと現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンして設定します。お買い上げ後はじめて設定する場合や、違う地域に引越した場合は、こちらを選び、決定を押します。 「再スキャン」を選んだ場合、スキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。 「自動スキャン」を選ぶと、本機の電源が入っていないときに変更されたチャンネルを自動的にスキャンして追加するかどうか設定できます。
		手動設定	リモコンの数字ボタンに、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。
		チャンネルスキップ設定	チャンネルへVボタンでチャンネルを選局するときに、不要なチャンネルをスキップする（飛び越す）ことができます。
		チャンネル設定の初期化	すべてのチャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。 チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すと地上デジタル放送は受信できなくなります。受信するには「初期スキャン」をしてください。この操作をしても、双方向サービスの利用で本機に記憶された住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報はそのままです。
データ放送設定		郵便番号と地域の設定	お住まいの地域の郵便番号を入力しておく、データ放送で地域の情報を得ることができます。
		文字スーパー表示設定	文字スーパーは、視聴している番組とは連動しないニュース速報などを表示するものです。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。 お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。
		ルート証明書番号	地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。 ルート証明書は地上デジタル放送で放送局から送られます。
通信設定		IP アドレス設定	インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。 ※「IP アドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS 設定」の「DNS アドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。
		DNS 設定	ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。 ※「IP アドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS アドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。
		プロキシ設定	インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。 ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。
		MAC アドレス	ネットワーク上に接続されている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。
		接続テスト	「接続設定」が正しいかテストします。 テストで正しく接続できなかった場合は、故障かな？と思ったらの「ネットワーク」をご覧ください。（76 ページ参照）

設定			
初期設定	miniB-CAS カードの確認	本機にセットされている miniB-CAS カードの状態や ID 番号などを確認することができます。	
	ソフトウェアの ダウンロード	放送からの 自動ダウン ロード	本機のソフトウェアを自動的にダウンロードして、更新するか設定します。 「ダウンロードしない」に設定している場合は、ソフトウェアの配信日時を知らせるお知らせが本機に届きます。配信日時までに「ダウンロードする」に設定してください。 ※ 電源が供給されていないと、ソフトウェアのダウンロードを行なえません。電源プラグをコンセントから抜かないようご注意ください。 ※ アンテナ受信レベルが低い場合、ソフトウェアのダウンロードは行なえません。NHK のアンテナレベルが 50 以上になるよう、アンテナを調整してください。 ※ 本体の電源ボタンで電源を切っているときは、ソフトウェアのダウンロードは行なえません。
		ソフトウェア バージョン	現在の「ソフトウェアバージョン」を表示します。
	設定の初期化	初期化 1	下記以外の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 ・「チャンネル設定」 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・ USB ハードディスクの「自動削除設定」
		初期化 2	下記以外の設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・ USB ハードディスクの「自動削除設定」
		すべての初期化	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報の消去を行ないます。 ※ この機能は、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡したりする場合に実行してください。

*1 録画・再生中は「設定」を切り換えることができません。

*2 HDMI 連動機能についてはメーカーごとにカスタム設定されている場合が多く、正しく動作しない場合があります。

映像設定

カラーイメージコントロール

映像の色調を調整することができます。

- 1 **メニュー**を押し、**▲▼**と**決定**で「映像設定」⇒「映像調整」⇒「詳細調整」⇒「カラーイメージコントロール」の順に進む

詳細調整（放送/再生）	
カラーイメージコントロール	→
ノイズリダクション	→
ダイナミックバックライト制御	オン
シネマスキャン	オン
色温度	10
ダイナミックガンマ	10
ガンマ調整	00
2Dアバチャー	00

- 4 選んだ色の調整が終わったら**戻る**を押す
他の色を調整するときは、手順 1 から繰り返します。

ベースカラー

レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに、色あいや色の濃さを調整することができます。

- 1 「ベースカラー」の中から調整する色を**▲▼**で選び、**決定**を押す

基準色選択	
ベースカラー	
レッド	
グリーン	
ブルー	
イエロー	
マゼンダ	
シアン	
ユーザーカラー	
ユーザー1	
ユーザー2	
ユーザー3	

- 2 **青**を押して静止画にする
(もう一度**青**を押すと静止画が解除されます)

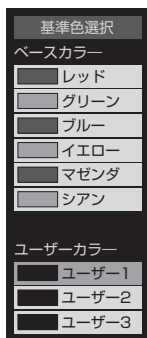
- 3 **▲▼**で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、**◀▶**で調整する
調整範囲は－30～＋30です。
※ 元の色（初期状態）に戻すには、**赤**を押します。

色調整	
レッド	
基準色	
調整後	
色あい	0
色の濃さ	-1
明るさ	-1

ユーザーカラー

画面に表示されている色を指定して、お好みの色あいや色の濃さ、明るさに調整することができます。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに反映されます。

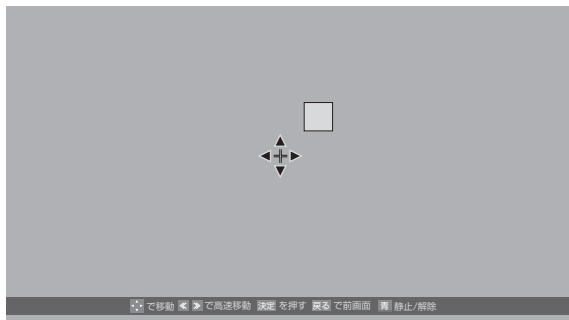
- 1 「ユーザーカラー」の中から▲▼でどれかを選び、を押す



- 2 を押して静止画にする

- 3 ▲▼で「基準色変更」を選び、を押す
カーソルが表示されます。

- 4 調整したい色の部分まで▲▼◀▶でカーソルを移動しを押す
画面から選択した色がパレットに登録されます。



- 5 ▲▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀▶で調整する

調整範囲は-30 ~ +30 です。

※ 元の色（初期状態）に戻すには、を押します。



- 6 選んだ色の調整が終わったらを押す

ほかのユーザーカラーを調整するときは、手順1から繰り返します。

タイマー機能メニュー

オンタイマーを使う

設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合は使用できません。

1 を押す

2 ▲▼で「タイマー機能」を選び、を押す

3 ▲▼で「オンタイマー」を選び、を押す

4 「オンタイマー」で設定する項目を▲▼で選び、を押す

オンタイマー	
オンタイマー機能	動作しない
日時	月～金 AM 7:00
チャンネル	BS103
音量	30

オンタイマー機能

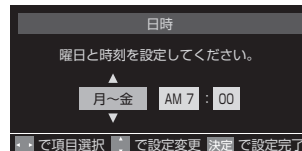
オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

- ① ▲▼で「オンタイマー機能」を選び、を押す
- ② ▲▼で以下の項目から選び、を押す
 - ・ 動作しない.....オンタイマー機能を使いません。
 - ・ 通常オン.....設定時刻に電源が「入」になります。
 - ・ だんだんオン.....設定時刻に電源が「入」になり、画面の明るさと音量が徐々にふえ、1分後に通常の状態になります。
- 設定したオンタイマーを解除するときは、上記の操作で「動作しない」を選びます。
- 「だんだんオン」の動作中は、画面左下に●●●だんだんオンが表示されます。何か操作をすると、音量の増加はその時点で止まり、明るさは通常使用時の状態になり、表示は消えます。

日時

オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

- ① ▲▼で「日時」を選び、を押す
- ② ◀▶で設定する項目を選び、▲▼で日時を選ぶ
 - ・ 曜日は「毎日」、「毎週（日）」～「毎週（土）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。



- ③ 設定が終わったらを押す

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

- ① ▲▼で「チャンネル」を選び、を押す
- ② 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選ぶ
 - ・ 放送の種類.....地デジ／BS／CS
 - ・ チャンネル.....設定した放送の種類に該当するチャンネル
- ③ 設定が終わったらを押す

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

- ① ▲▼で「音量」を選び、を押す
- ② ▲▼でお好みの音量を選び、を押す

5 「オンタイマー」を設定した後、リモコンの電源ボタンで電源を切る

本体の電源ボタンで電源を切らないでください。
本体の電源ボタンで電源を切っているときは、オンタイマーが機能しません。

- ※ オンタイマー作動後、無操作状態が約1時間続くと自動的に電源が切れます。
このとき画面には、「まもなく電源が切れます。」と表示されます。
- ※ オンタイマーと番組予約が重なっていたときは、設定したチャンネルとは別のチャンネルで電源が入ることがあります。

オフタイマーを使う

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて待機状態になります。

1 を押す

2 ▲▼で「タイマー機能」を選び、を押す

3 ▲▼で「オフタイマー」を選び、を押す

4 「オフタイマー」で設定する項目を▲▼で選び、を押す

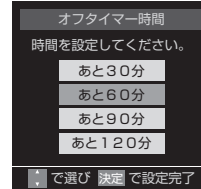
オフタイマー機能

オフタイマーを使用する、使用しないを設定します。

- ① ▲▼で「オフタイマー機能」を選び、を押す
- ② ▲▼で以下の項目から選び、を押す
 - ・ 動作しない.....オフタイマー機能を使いません。
 - ・ 通常オフ.....設定時間後に電源が「待機」になります。
 - ・ だんだんオフ.....あと 1 分の時点から画面の明るさと音量が徐々に下がり、設定時間後に電源が「待機」になります。
- 設定したオフタイマーを解除するときは、上記の操作で「動作しない」を選びます。
- 「だんだんオフ」の動作中は、画面左下に ●●●だんだんオフが表示されます。何か操作をすると、音量の低下はその時点で止まり、明るさは通常使用時の状態になり、表示は消えます。(オフタイマーの動作は継続されます)

オフタイマー時間

- ① ▲▼で「オフタイマー時間」を選び、を押す
- ② ▲▼で設定時間を選び、を押す



- ・ 電源が切れる 1 分になると、画面にメッセージが表示されます。
- ・ オフタイマーが設定されているときに を押すと、メニューの「オフタイマー時間」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- ・ デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合は、オフタイマーが機能しません。

再生機器を接続する

本機はブルーレイ / DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続することができ、高精細、高画質に対応した HDMI 端子に接続すると、よりきれいな映像を楽しむことができます。
接続する機器の出力端子によっては、標準的な画質の映像端子をお選びください。



お知らせ

- 接続に使用するケーブル類は、本機に付属していません。外部機器を接続するときは、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。

外部機器を接続するときの注意

- 接続する機器に付属の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 接続するプラグは奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分だと、ノイズが発生する原因になります。

接続した機器の映像を見るには

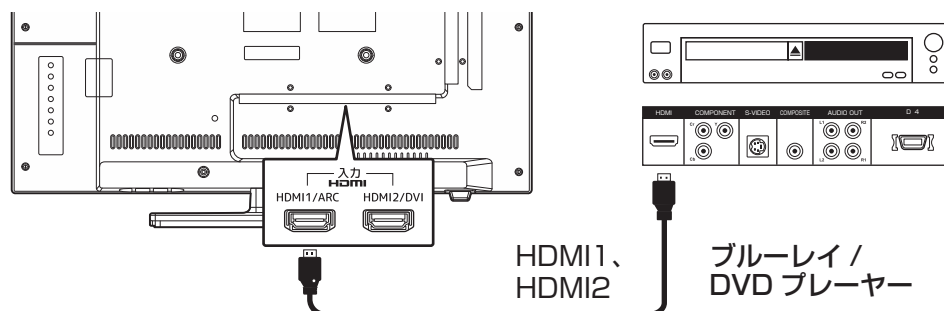
- ① **入力切替** を押す
 - ② **▲▼** で入力信号を選ぶ
- 本体の入力切替ボタンでも入力切替ができます。



HDMI 端子を使う場合

ブルーレイ / DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどの HDMI 端子に本機を接続することができます。

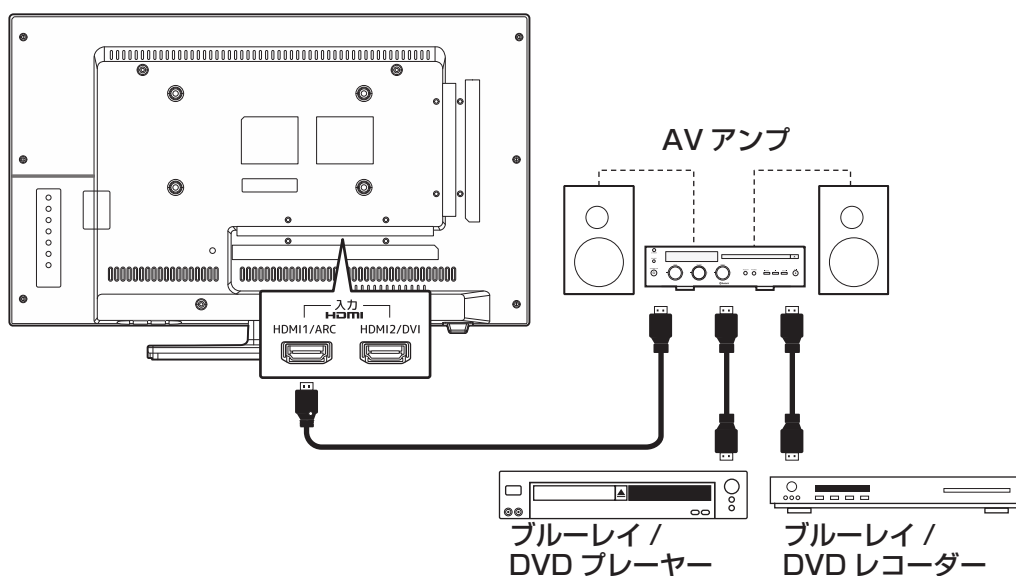
HDMI ケーブルは、接続するだけでデジタル信号のまま映像と音声信号を同時に入力することができます。



また本機の HDMI1 / ARC 入力端子は HDMI ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。
ARC 対応の AV アンプなどを ARC 対応の HDMI ケーブルで接続する場合は、デジタル音声ケーブルでの接続は不要です。

- テレビの音声を ARC 対応の AV アンプなどから出力する場合は、メニューの「スピーカー切替」（54 ページ）、または「優先スピーカー」（57 ページ）の設定で「AV システムスピーカー」を選択してください。

ARC 対応の AV アンプなどを接続する場合 (HDMI1/ARC)

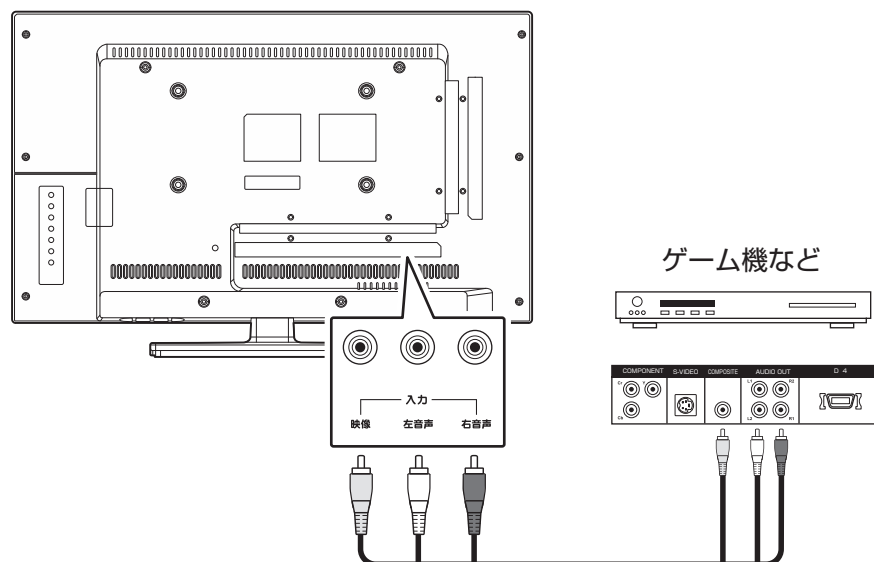


■お知らせ

- 接続する機器は、HDMI の標準技術規格に対応したものをお使いください。

映像端子を使う場合

本機にビデオデッキや DVD プレーヤー、ゲーム機などを接続することができます。



⚠️ご注意

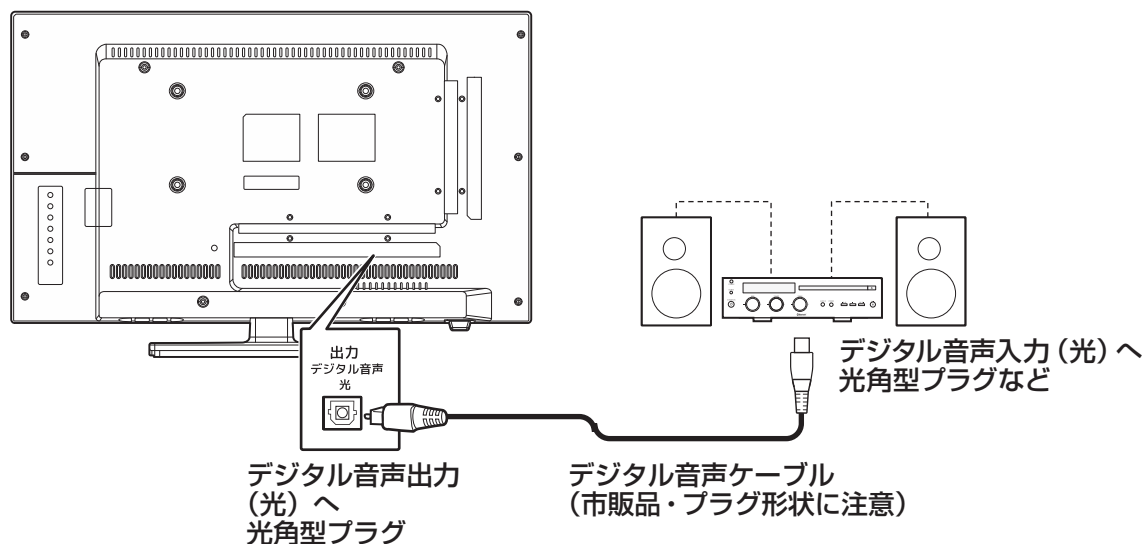
- 本機と外部機器を接続するときに、入出力端子を間違えて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 映像と音声端子がそれぞれ正しく接続されていることを確認してください。
- モノラル機器と接続するときは、音声端子を L (左)、R (右) のどちらに接続するのかを、接続する機器に付属の取扱説明書で確認してください。

再生機器を接続する（つづき）

デジタル音声出力端子を使う場合

AAC 対応の AV アンプに接続すると、5.1ch サラウンドでデジタル放送を楽しむことができます。

- お買い上げ時のデジタル音声出力のフォーマットは「PCM」に設定されています。5.1ch サラウンドを楽しむときには、設定を変更してください。（54 ページを参照）
- 著作権が保護されている番組では、デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。



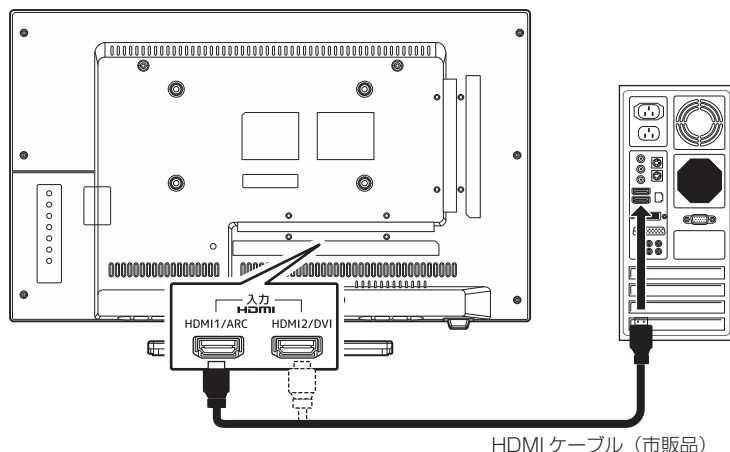
パソコンを接続する

本機にパソコンを接続して、パソコンのモニターの代わりとして使用することができます。

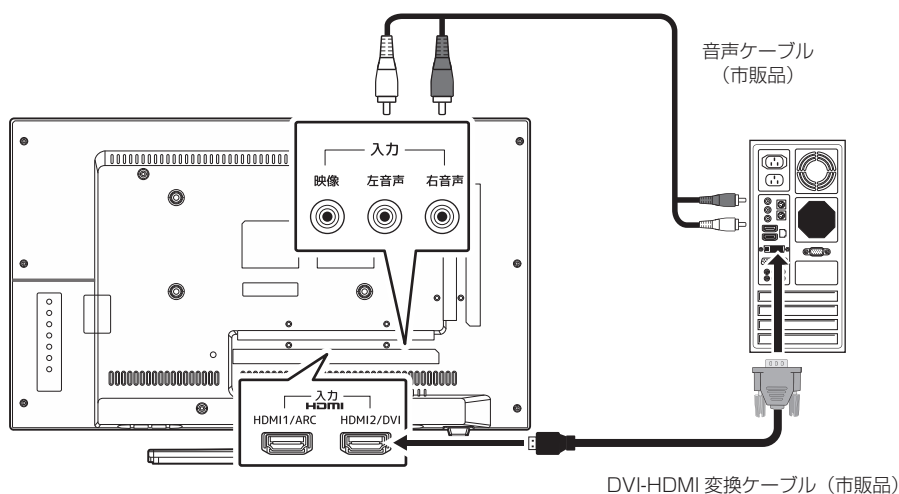
パソコン側に HDMI 出力端子が付いている場合は、HDMI ケーブルで接続できます。

DVI 出力端子が付いている場合は、DVI-HDMI 変換ケーブルなどで接続できます。また、DVI 接続の場合は、音声ケーブルの接続も必要になります。

● HDMI ケーブルで接続する場合



● DVI-HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルで接続する場合 (HDMI2/DVI)



パソコンの音声を本機のスピーカーで聴く場合は、HDMI2/DVI 入力端子と接続し、メニューのビデオ音声入力設定を HDMI2 アナログ音声に切り換えます。(55 ページの「ビデオ音声入力設定」を参照してください。)

⚠ ご注意

- ・ 接続するパソコンに付属の取扱説明書もご覧ください。
- ・ 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様を確認してください。
- ・ 画面設定は、1360×768@60Hz、1280×1024@60Hz、1280×768@60Hz、1024×768@60Hz、800×600@60Hz、640×480@60Hzに対応しています。
- ・ 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。
- ・ DVI-HDMI 変換ケーブルで HDMI1/ARC 入力端子に接続した場合は、音声ケーブルを接続しても音声は出力されません。

■ お知らせ

- ・ 接続する前に、パソコンに付属の取扱説明書の仕様を確認し、表示できる画面設定（解像度、周波数）に変更してください。
- ・ 本機にパソコンを接続したときの表示設定は、最良に近い状態に自動調整されます。

アンテナの方向調整と設定

アンテナレベル

「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できないときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向を調整してください。

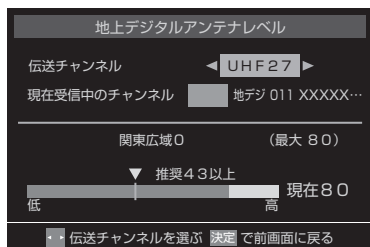
地上デジタル用アンテナの場合

- 1 を押し、 と で「設定」⇒「初期設定」⇒「アンテナ設定」⇒「地上デジタルアンテナレベル」の順に進む



2 で「伝送チャンネル」を選ぶ

- ・お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます。（お買い上げの販売店などにご相談ください）
- ・ を押すたびに以下のように切り換わります。
 ⇄ ⇄
- ・アンテナレベルが推奨の数値以上になっているか確認します。



BS・110度CS用アンテナの場合

- 1 を押し、 と で「設定」⇒「初期設定」⇒「アンテナ設定」⇒「BS・110度CSアンテナレベル」の順に進む

2 で放送の種類を選ぶ

3 チャンネル ボタンでチャンネルを選ぶ

- ・無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- ・アンテナレベルが推奨の数値以上になっているか確認します。

アンテナを調整する

アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- ・アンテナレベルの増減に応じて、横棒グラフが表示されます。
- ・画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して を押す

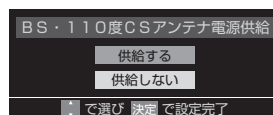
BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「供給する」に設定されています。マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。

1 を押し、 と で「設定」⇒「初期設定」⇒「アンテナ設定」⇒「BS・110度CSアンテナ電源供給」の順に進む



2 で「供給する」または「供給しない」を選び、 を押す



地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下表のとおりです。

引越しや新しく放送局が開局された場合などに、チャンネルを割り当て直したいときは、初期設定メニューを表示し、「チャンネル設定」の「地上デジタル自動設定」で「地域選択」と「初期スキャン」または「再スキャン」を行なってください。

お住まいの地域	北海道（札幌）	北海道（函館）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（釧路）	北海道（北見）	北海道（室蘭）
チャンネル名	3 NHK 総合・札幌	3 NHK 総合・函館	3 NHK 総合・旭川	3 NHK 総合・帯広	3 NHK 総合・釧路	3 NHK 総合・北見	3 NHK 総合・室蘭
	2 NHKE テレ札幌	2 NHKE テレ函館	2 NHKE テレ旭川	2 NHKE テレ帯広	2 NHKE テレ釧路	2 NHKE テレ北見	2 NHKE テレ室蘭
	1 HBC 札幌	1 HBC 函館	1 HBC 旭川	1 HBC 帯広	1 HBC 釧路	1 HBC 北見	1 HBC 室蘭
	5 STV 札幌	5 STV 函館	5 STV 旭川	5 STV 帯広	5 STV 釧路	5 STV 北見	5 STV 室蘭
	6 HTB 札幌	6 HTB 函館	6 HTB 旭川	6 HTB 帯広	6 HTB 釧路	6 HTB 北見	6 HTB 室蘭
	8 UHB 札幌	8 UHB 函館	8 UHB 旭川	8 UHB 帯広	8 UHB 釧路	8 UHB 北見	8 UHB 室蘭
	7 TVH 札幌	7 TVH 函館	7 TVH 旭川	7 TVH 帯広	7 TVH 釧路	7 TVH 北見	7 TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城	秋田	山形	岩手	福島	青森	東京
チャンネル名	3 NHK 総合・仙台	1 NHK 総合・秋田	1 NHK 総合・山形	1 NHK 総合・盛岡	1 NHK 総合・福島	3 NHK 総合・青森	1 NHK 総合・東京
	2 NHKE テレ仙台	2 NHKE テレ秋田	2 NHKE テレ山形	2 NHKE テレ盛岡	2 NHKE テレ福島	2 NHKE テレ青森	2 NHKE テレ東京
	1 TBC テレビ	4 ABS 秋田放送	4 YBC 山形放送	6 IBC テレビ	8 福島テレビ	1 RAB 青森放送	4 日本テレビ
	8 仙台放送	8 AKT 秋田テレビ	5 YTS 山形テレビ	4 テレビ岩手	4 福島中央テレビ	6 ATV 青森テレビ	6 TBS
	4 ミヤギテレビ	5 AAB 秋田朝日放送	6 テレビユー山形	8 めんこいテレビ	5 KFB 福島放送	5 青森朝日放送	8 フジテレビジョン
	5 KHB 東日本放送		8 さくらんぼテレビ	5 岩手朝日テレビ	6 テレビユー福島		5 テレビ朝日
							7 テレビ東京
							9 TOKYO MX
							12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
チャンネル名	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・前橋	1 NHK 総合・水戸	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・宇都宮	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・長野
	2 NHKE テレ東京	2 NHKE テレ東京	2 NHKE テレ東京	2 NHKE テレ東京	2 NHKE テレ東京	2 NHKE テレ東京	2 NHKE テレ長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 abn 長野朝日放送
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 SBC 信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS 長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 tvk	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 チバテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレ玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
チャンネル名	1 NHK 総合・新潟	1 NHK 総合・甲府	1 NHK 総合・大阪	1 NHK 総合・京都	1 NHK 総合・神戸	1 NHK 総合・和歌山	1 NHK 総合・奈良
	2 NHKE テレ新潟	2 NHKE テレ甲府	2 NHKE テレ大阪	2 NHKE テレ大阪	2 NHKE テレ大阪	2 NHKE テレ大阪	2 NHKE テレ大阪
	6 BSN	4 YBS 山梨放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ
	4 TeNY テレビ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ21		10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS 京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
チャンネル名	1 NHK 総合・大津	1 NHK 総合・広島	1 NHK 総合・岡山	1 NHK 総合・高松	3 NHK 総合・松江	3 NHK 総合・鳥取	1 NHK 総合・山口
	2 NHKE テレ大阪	2 NHKE テレ広島	2 NHKE テレ岡山	2 NHKE テレ高松	2 NHKE テレ松江	2 NHKE テレ鳥取	2 NHKE テレ山口
	4 MBS 毎日放送	3 RCC テレビ	4 RNC 西日本テレビ	4 RNC 西日本テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY 山口放送
	6 ABC テレビ	4 広島テレビ	5 KSB 瀬戸内海放送	5 KSB 瀬戸内海放送	6 BSS テレビ	6 BSS テレビ	3 tys テレビ山口
	8 関西テレビ	5 広島ホームテレビ	6 RSK テレビ	6 RSK テレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 yab 山口朝日
	10 読売テレビ	8 TSS	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち			
	3 BBC びわ湖放送		8 OHK テレビ	8 OHK テレビ			

その他

地域別チャンネル表（つづき）

お住まいの地域	愛知	三重	岐阜	石川	静岡	福井	富山
チャンネル名	3 NHK 総合・名古屋	3 NHK 総合・津	3 NHK 総合・岐阜	1 NHK 総合・金沢	1 NHK 総合・静岡	1 NHK 総合・福井	3 NHK 総合・富山
	2 NHKE テレ名古屋	2 NHKE テレ名古屋	2 NHKE テレ名古屋	2 NHKE テレ金沢	2 NHKE テレ静岡	2 NHKE テレ福井	2 NHKE テレ富山
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 テレビ金沢	6 SBS	7 FBC	1 KNB 北日本放送
	5 CBC	5 CBC	5 CBC	5 北陸朝日放送	8 テレビ静岡	8 福井テレビ	8 BBT 富山テレビ
	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 メ〜テレ	6 MRO	4 だいいちテレビ		6 チューリップテレビ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	4 中京テレビ	8 石川テレビ	5 静岡朝日テレビ		
	10 テレビ愛知	7 三重テレビ	8 ぎふチャン				

お住まいの地域	愛媛	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
チャンネル名	1 NHK 総合・松山	3 NHK 総合・徳島	1 NHK 総合・高知	3 NHK 総合・福岡	1 NHK 総合・熊本	1 NHK 総合・長崎	3 NHK 総合・鹿児島
	2 NHKE テレ松山	2 NHKE テレ徳島	2 NHKE テレ高知	3 NHK 総合・北九州	2 NHKE テレ熊本	2 NHKE テレ長崎	2 NHKE テレ鹿児島
	4 南海放送	1 四国放送	4 高知放送	2 NHKE テレ福岡	3 RKK 熊本放送	3 NBC 長崎放送	1 MBC 南日本放送
	5 愛媛朝日		6 テレビ高知	2 NHKE テレ北九州	8 TKU テレビ熊本	8 KTN テレビ長崎	8 KTS 鹿児島テレビ
	6 あいテレビ		8 さんさんテレビ	1 KBC 九州朝日放送	4 KKT くまもと県民	5 NCC 長崎文化放送	5 KKB 鹿児島放送
	テレビ愛媛			4 RKB 毎日放送	5 KAB 熊本朝日放送	4 NIB 長崎国際テレビ	4 KYT 鹿児島読売 TV
				5 FBS 福岡放送			
				7 TVQ 九州放送			
				8 TNC テレビ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄
チャンネル名	1 NHK 総合・宮崎	1 NHK 総合・大分	1 NHK 総合・佐賀	1 NHK 総合・那覇
	2 NHKE テレ宮崎	2 NHKE テレ大分	2 NHKE テレ佐賀	2 NHKE テレ沖縄
	6 MRT 宮崎放送	3 OBS 大分放送	3 STS サガテレビ	3 RBC テレビ
	3 UMK テレビ宮崎	4 TOS テレビ大分		5 QAB 琉球朝日放送
		5 OAB 大分朝日放送		8 沖縄テレビ (OTV)

● 一覧の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

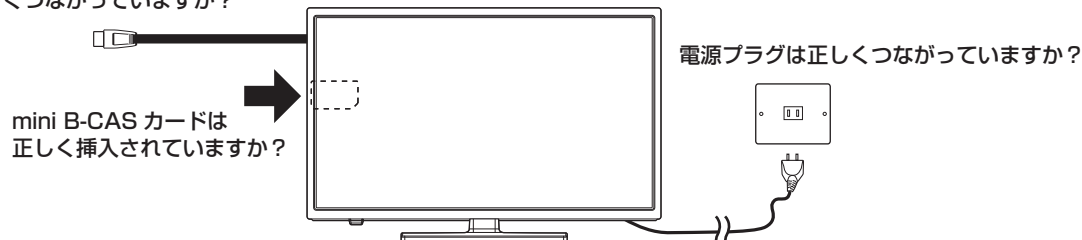
故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下の接続を確認してください。

アンテナは正しくつながっていますか？



こんな場合は故障ではありません

- 画面上の赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
液晶画面は高精度の技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る
部屋の温度変化によってキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をしますが、このとき内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因	対処方法
すべての操作を受け付けない	・ ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります。	・ 本体の電源ボタンを約5秒間長押しすると、電源ランプが点滅して再起動します。 それでも操作を受け付けない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはドウシヤサービスセンターにご連絡ください。
電源が入らない	・ 電源プラグが、コンセントから抜けていませんか？	・ 電源プラグの接続を確認してください。
電源が突然切れた	・ オフタイマーを設定していませんか？ ・ 「無操作自動電源オフ」を「待機にする」に設定していませんか？	・ オフタイマーの設定を確認してください。 ・ 「無操作自動電源オフ」を「待機にする」に設定すると、無操作状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。(55ページ参照) ・ 「無操作自動電源オフ」を「動作しない」に設定してください。

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	原因	対処方法
リモコンで本機を操作できない	・ リモコンをリモコン受光部に向けていますか？	・ リモコンをリモコン受光部に向けてください。
	・ リモコン受光部に、お部屋の蛍光灯の強い光があたっていませんか？	・ リモコン受光部に強い光を当てないでください。
	・ 乾電池が消耗していませんか？	・ 新しい乾電池に交換してみてください。
	・ 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？	・ 乾電池を正しく入れ直してください。

映像

症状	原因	対処方法
映像が出ない	・ アンテナは正しくつながっていますか？	・ アンテナの接続を確認してください。
	・ 明るさは正しく調整されていますか？	・ 明るさ（コントラスト・黒レベル・バックライト）の調整をし直してください。
	・ 外部機器と正しく接続されていますか？	・ 外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	・ 電源プラグが、コンセントから抜けていませんか？	・ 電源プラグの接続を確認してください。
	・ 電源は入っていますか？	・ 電源を入れてください。
	・ テレビ以外の入力モードになっていませんか？	・ 地デジ BS CS を押してテレビモードに設定してください。
映像、音声ともにノイズしか出ない	・ アンテナケーブルは正しく接続されていますか？	・ アンテナの接続を確認してください。
映像や音声他突然出なくなる、または時々出なくなる 映像が突然静止する、または時々静止する	・ アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？	・ アンテナを調整してください。
	・ アンテナ線の劣化が考えられます。	・ アンテナ線を確認してください。
	・ アンテナへの着雪、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、またアンテナに雪が積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。	・ 天候の回復を待ってください。

症状	原因	対処方法
映りが悪い	・ アンテナケーブルは正しく接続されていますか？	・ アンテナの接続を確認してください。
	・ 電波状態が悪いことが考えられます。	・ アンテナを調整してください。
色あいが悪い、色が薄い	・ 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか？	・ 色の濃さや色あいの調整をし直してください。
画面が暗い	・ 明るさは正しく調整されていますか？	・ 明るさ（コントラスト・黒レベル・バックライト）の調整をし直してください。
接続した機器の映像が出ない	・ 外部機器は正しくつながっていますか？	・ 外部機器の接続と電源を確認してください。
	・ 入力モードは正しいですか？	・ リモコンまたは本体の入力切換ボタンで、入力を切り換えてください。

音声

症状	原因	対処方法
音が出ない	・ 音量が最小になっていませんか？	・ 「音量」 ボタンを押して音量を大きくしてください。
	・ 「消音」 状態になっていませんか？	・ 再度「消音」 ボタンを押してください。
	・ ヘッドホン端子にヘッドホンまたはイヤホンが接続されていませんか？	・ ヘッドホン端子を確認してください。

デジタル放送

症状	原因	対処方法
デジタル放送が受信できない	・ miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？	・ miniB-CAS カードを確認してください。
	・ アンテナは正しく接続されていますか？	・ アンテナの接続を確認してください。
引越したら、地上デジタル放送が受信できなくなった	・ 「初期設定」は正しく設定されていますか？	・ 「初期設定」の「地上デジタル自動設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	・ お買い上げ直後や、長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。	・ しばらく視聴したあとに、再度確認してください。
字幕が出ない	・ 字幕のついていない番組を視聴していませんか？	・ 番組情報で字幕放送か確認してください。
	・ 字幕設定が「字幕オフ」になっていませんか？	・ 字幕設定を「日本語字幕」に設定してください。

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	原因	対処方法
BS・110度CS デジタル放送が映らない	アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか？	「BS・110度CS アンテナ電源供給」を「供給する」に設定してください。（68 ページ参照）
有料放送が視聴できない	視聴契約はされていますか？	視聴手続きをしてください。

USB ハードディスク録画

症状	原因	対処方法
USB ハードディスクが使用できない、または認識されない	本機で接続確認済みの USB ハードディスクですか？	接続確認済み USB ハードディスクはホームページでご確認ください。 http://doshisha-av.com/ ※ 本機で接続確認済みの機器でない場合は、使用できないことがあります。
	機器が正しく接続されていますか？	USB ハードディスクの接続を確認してください。
	機器の電源がはいっていますか？	USB ハードディスクの電源を入れてください。 ※ 本機の USB 端子から電源（バスパワー）は供給されません。USB ハードディスクやハブは AC アダプターを接続してご使用ください。
	機器が本機に登録されていますか？	「機器の登録」で USB ハードディスクを本機に登録してください。
	USB ハブを使用している場合、本機で使えるようになっていますか？	「複数の USB ハードディスクを接続する」の「お知らせ」（32 ページ）を参照してください。 ※ 本機の USB 端子から電源（バスパワー）は供給されません。USB ハブは AC アダプターを接続してご使用ください。

症状	原因	対処方法
録画ができない、または録画されていなかった	USB ハードディスクの残量が足りていますか？	• USB ハードディスクの残量を確認してください。 • 不要な番組を削除してください。 • 「自動削除設定」を「削除する」に設定してください。
	コピー禁止の番組ではありませんか？	「番組説明」を確認してください。コピー禁止の番組は録画できません。
	外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像などではありませんか？	本機は左記の番組や映像の録画には対応していません。
	予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか？	本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※ 録画予約時の詳細設定で「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。
	連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか？	「連ドラ設定」で「追跡キーワード」を正しく設定してください。 ※ 1 回限りのキーワード（「第〇〇話」や出演者名など）を削除します。
	「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか？	メニューの「その他の操作」⇒「お知らせ」で内容を確認してください。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。
録画した番組が消えてしまった	「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか？	• 「自動削除設定」を「削除しない」に設定してください。 • または、消したくない番組を保護してください。（47 ページ参照）
	録画中（スタンバイ録画時は電源ランプが紫色に点灯中）に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか？	• 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かないでください。 ※ 左記の場合、録画中の番組はのりません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。 • 「録画番組の修復」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。（56 ページ参照）

HDMI 連動機能

症状	原因	対処方法
接続した機器が連動しない	接続は正しいですか？	HDMI ロゴ表示のついた規格に合った HDMI ケーブルで正しく接続してください。
	本機と接続機器の設定は正しいですか？	接続機器側の連動設定を確認してください。（機器の取扱説明書を参照してください）

故障かな？と思ったら（つづき）

ネットワーク

症状	原因	対処方法
接続テストで「接続できませんでした」と表示される。イーサネット通信ができない (LAN 端子を使った双方向サービスができない)	LAN ケーブルは正しく接続されていますか？	接続を確認してください。ハブを使用している場合は、ハブの Link ランプを確認、点灯／点滅 (ランプの説明はハブの取扱説明書を確認ください) していない場合は、ケーブルの接続や、ケーブルの種類を確認してください。
	ネットワーク設定で IP アドレスが「0.0.0.0」になっていませんか？	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。
	DHCP が動作していない。	ルータの設定を再確認後、ルータを再起動してください。
	ネットワーク機器のトラブルが考えられます。	本機はすべてのネットワーク機器に対して動作を保証するものではありません。また、ネットワーク機器の機能やコンテンツによって動作が異なります。
通信速度が遅い、不安定	回線が混雑する時間ではありませんか？	時間をおいてから通信してみてください。 ※ 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。 (データ量が多い場合など) 通信速度については、インターネット接続業者にご相談ください。

エラーメッセージ一覧

代表的なエラーメッセージ表示について説明します。

全般

画面に出るエラー表示	原因	対処方法
「電波の受信状態が良くありません。メニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができます。
「アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。青ボタンでアンテナレベルをご確認ください。コード：E202」	- アンテナが放送に適合していない。 - アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 - BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 - アンテナの方向ずれや故障。 - 電波が弱くて視聴できない。 - 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。	- 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認してください。 - アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認してください。（販売店にご相談ください） - BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにしてください。
「現在放送されていません。コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認してください。
「該当するチャンネルはありません。コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認してください。
「miniB-CAS カードが挿入されていません。miniB-CAS カードをご確認ください。」	- miniB-CAS カードが挿入されていない。 - miniB-CAS カードが正しく挿入されていない。 - miniB-CAS カードが抜けている。	miniB-CAS カードを正しく挿入してください。
	miniB-CAS カードが接触不良を起こしている。	miniB-CAS カードをカチッと音が鳴るまで押して取り出し、金色端子部に汚れが無いか確認し、乾いた柔らかい布でふき取り、もう一度入れ直してください。
「この miniB-CAS カードはご使用になれません。B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。」	無効な miniB-CAS カードが挿入されている。	付属の miniB-CAS カードの所有権は、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にあります。認識しないなど、破損した場合の再発行については、付属の miniB-CAS カード台紙に記載されている、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にお問い合わせください。

エラーメッセージ一覧（つづき）

USB ハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	原因	対処方法
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認してください。
	USB ハードディスクの電源が切れている。	USB ハードディスクの電源を入れてください。
	USB ハードディスクにエラーが発生した。	USB ハードディスクの電源を入れ直してください。
「再生できません。」	視聴制限のある番組を録画した。	「放送視聴制限設定」で、録画した番組が視聴できる設定にしてください。
	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	再生できません。
	再生時にテレビと USB ハードディスクの通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。	テレビと USB ハードディスクの電源を入れ直してください。また、接続を確認してください。
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	テレビと USB ハードディスクの通信に障害があった。	テレビと USB ハードディスクの電源を入れ直してください。
「情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	「録画番組の修復」の操作をしてください。
「USB 端子の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USB バスパワーで動作する USB ハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させてください。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USB ハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約 10 秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USB ハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USB ハードディスクに AC アダプターを接続してください。

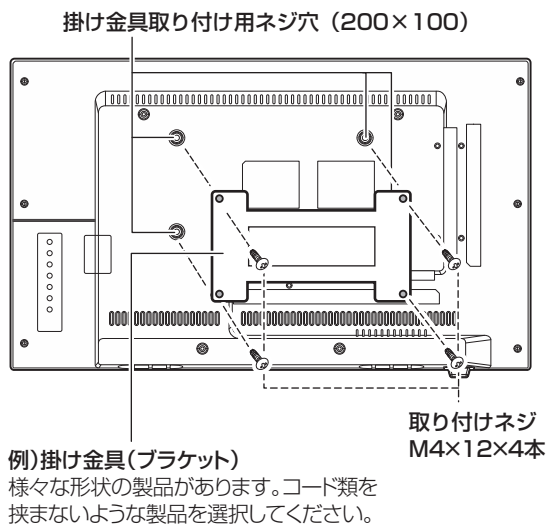
LAN 端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	原因	対処方法
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	回線が混みあっている。	しばらくたってから、もう一度操作してください。
	通信に失敗した。	接続・設定の状態を確認してください。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	本機にルート証明書が設定されていない。	ルート証明書番号を確認し、ドウシシャサービスセンターまでお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。	ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかをドウシシャサービスセンターまでお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書の有効期限が切れている。	
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が有効期限切れになっている。	
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	接続先の証明書が改ざんされている。	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	認証エラーが発生した。	接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。(本機の動作は正常です)

壁に掛けて使用するとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 壁への取り付けが不完全または誤った据え付け方をすると、テレビが落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。



■お知らせ

ネジ穴寸法は、200mm × 100mm です。
VESA 規格に準じた金具をご使用できます。
本機の重量は 3.4kg です。本機の重量に合った壁掛け金具を使用してください。
取り付けネジのサイズは、M4 × 12mm (4 本) をご使用ください。
ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調整してください。
下記の条件に合った金具をご使用ください。

ネジ穴寸法：200mm × 100mm (VESA 規格)
耐荷重：3.4kg 以上
取り付けネジ：M4 × 12mm × 4 本

⚠ ご注意

- 長いネジを使用すると、内部の部品へダメージを与え製品を損傷します。

主な仕様

テレビ

型名		SDN24-B31
液晶パネル	画面サイズ	24V 型
	バックライト	LED
	区分名	DK
	画素数	1366(H) × 768(V)
	応答速度	5 ms
	視野角 (最小値)	左右約 176° (MIN) / 上下約 176° (MIN)
	輝度 (最大値)	180cd/m ²
	コントラスト比 (標準値)	3000 : 1
受信チャンネル		地上デジタル : UHF (13 ~ 62ch) CATV パススルー (VHF、UHF) 対応 BS デジタル : BS (000 ~ 999ch) 110 度 CS デジタル : CS (000 ~ 999ch)
音声出力 (スピーカー)		3W + 3W
入力・出力端子	ビデオ入力	映像 : 1V(p-p)、75 Ω 負荷器 音声 : 200mV(rms)、22k Ω 以上 (インピーダンス)
	HDMI 入力 × 2	HDMI CEC 対応 HDCP 対応 ARC 対応 (HDMI 1 入力のみ) HDMI 対応入力解像度 : 480i、480p、720p、1080i、1080/24p、1080/30p、1080/60p パソコン対応入力解像度 : 640 × 480@60Hz、800 × 600@60Hz、1024 × 768@60Hz、 1280 × 768@60Hz、1280 × 1024@60Hz、1360 × 768@60Hz 推奨解像度 : 1080/60p
	ヘッドホン出力	ヘッドホン端子口径 3.5mm ステレオミニジャック、 適合インピーダンス 8 Ω ~
	デジタル音声出力	光デジタル音声出力端子 (角型)
	LAN 端子	10BASE-T/100BASE-TX
	USB 端子 (録画用)	USB2.0
データ放送		データ放送 (BML) 対応
番組表		電子番組表 (EPG) : ラテ欄表示形式 6 時間 / 7 チャンネル / 8 日間 視聴予約 / 録画予約可能
使用環境 / 保管環境		温度 : 5℃ ~ 40℃ / -20℃ ~ 60℃ 湿度 : 80%RH 以下
サイズ (W.D.H)	約	553 × 154 × 366 (スタンド含む)
重量	約	3.4 kg
消費電力		41 W
年間消費電力量		45 kWh / 年
付属品		リモコン(RT-005)×1個、リモコン用単4形乾電池×2個、 miniB-CASカード×1枚、スタンド×1個、スタンド固定ネジ×4本、 B-CASカードカバー×1個、B-CASカードカバー固定ネジ×1本、取扱説明書×1部、 保証書×1部

その他

年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。

本機をご使用できるのは、日本国内のみで海外では使用できません。

主な仕様（つづき）

リモコン（RT-005）

電源	DC 3V（単 4 形乾電池× 2）
リモコン操作距離	約 7 m（ただし直進）

* 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に「故障かな？と思ったら」の内容をチェックして、問題が解決できるか確認してください。問題が解決しないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店もしくはドウシシャサービスセンターまでご連絡ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」の記入をご確認の上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げ日から 1 年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンターまでお問い合わせください。

株式会社ドウシシャ

(東京本社) 〒108-8573 東京都港区高輪 2-21-46
(大阪本社) 〒542-8525 大阪市中央区東心斎橋 1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…

⇒ドウシシャ福井 A&V サービスセンター

【受付時間】9:00 ~ 17:00 (土日祝日以外の月~金曜日)

〒915-0801 福井県越前市家久町 41-1

TEL 0778 (24) 2779 FAX 0778 (24) 2799

※ 製品名、品番をご確認のうえ、お電話いただきますようお願いいたします。

※ FAX もしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

有償修理とさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ご住所・お名前・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日・お買い上げ販売店名
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しくご連絡ください）

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

修理・ご相談における個人情報の取り扱いについて

株式会社ドウシシャ（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

当社は、お客様の個人情報を、製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。

法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合は、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を保持するために必要な部品です。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年間です。

ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関してのお問い合わせは、ドウシシャサービスセンターへお願いいたします。

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になれることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文(英文)

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox parted xfsprogs mtd-utils mkdosfs e2fsprogs	Exhibit A
glibc gcc	Exhibit B
malloc	Exhibit C
OpenSSL	Exhibit D

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright c 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS

FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program).

Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1999

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty

for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is

legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

- 0 This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms.

A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it).

Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) The modified work must itself be a software library.
 - b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange. If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an

executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royaltyfree redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
```

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!
```

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at [ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c](http://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c)

Check before installing!

Exhibit D

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eyay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License -----

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eyay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eyay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to.

The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the

RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eyay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER

IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

ライセンスおよび商標などについて

- Blu-ray Disc™ (ブルーレイディスク)、Blu-ray™ (ブルーレイ) はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。

MEMO

その他

MEMO

MEMO

その他



発売元 株式会社ドウシシャ

株式会社ドウシシャ 福井 A&V サービスセンター

〒915-0801 福井県越前市家久町 41-1

☎ 0778 (24) 2779

[FAX] 0778 (24) 2799
